

評 価 資 料

平成 21 年度水と緑の森づくり事業 事業費の概要	1
富山県森づくりプランにおける森づくり施策の目標と年度別実績等	2
I 水と緑の森づくり推進事業	2
II 里山再生整備事業	3
里山再生整備事業実施状況一覧表	5
里山再生整備事業実施位置図	7
III みどりの森再生事業	8
みどりの森再生事業実施状況一覧表	9
みどりの森再生事業実施位置図	10
IV とやまの森づくりサポートセンター推進事業	11
県民参加による森づくり参加延べ人数	12
V とやまの森づくり総合情報システム事業	15
とやまの森づくり総合情報システムで提供する情報	16
VI とやまの森づくり普及啓発推進事業	18
「森の寺子屋」開催実績	19
フォレストリーダースキルアップ研修実績	24
VII 県産材利用促進事業	25
事業の実施と利用状況	26
アンケート結果	28
VIII 県民による森づくり提案事業	43
実施主体別の活動状況	44
アイデア提案一覧	51

平成21年度 水と緑の森づくり事業 事業費の概要

1 富山県水と緑の森づくり基金積立額

352 百万円

内訳	水と緑の森づくり税収相当額	350 百万円
	寄附金、運用益	2 百万円

2 水と緑の森づくり事業費

当初予算額
371 百万円

実施額
332 百万円

県民全体で支える森づくりの推進と森づくりの評価・改善

I 水と緑の森づくり推進事業	2 百万円	1 百万円
----------------	-------	-------

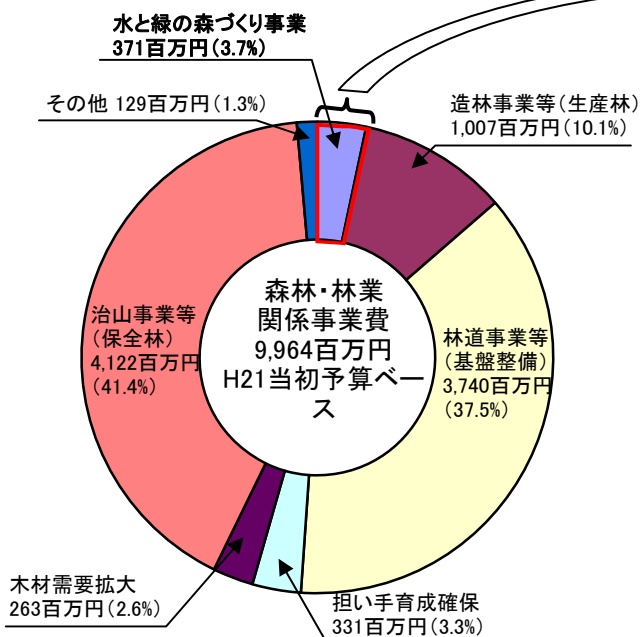
水と緑に恵まれた県土を支える多様な森づくりの推進

II 里山再生整備事業	164 百万円	158 百万円
III みどりの森再生事業	123 百万円	109 百万円

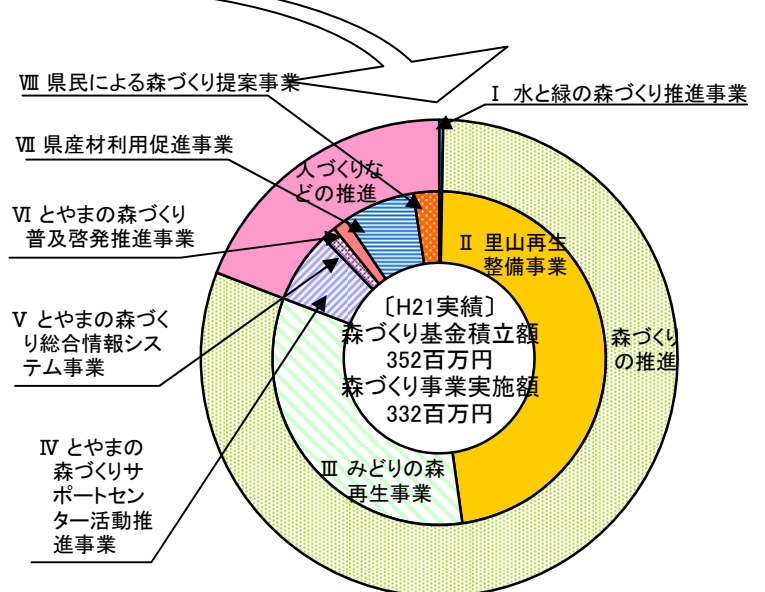
とやまの森づくりを支える人づくりなどの推進

IV とやまの森づくりサポートセンター活動推進事業	25 百万円	23 百万円
V とやまの森づくり総合情報システム事業	5 百万円	5 百万円
VI とやまの森づくり普及啓発推進事業	4 百万円	4 百万円
VII 県産材利用促進事業	38 百万円	23 百万円
VIII 県民による森づくり提案事業	10 百万円	9 百万円

平成21年度富山県森林・林業関係事業費の内訳
(当初予算ベース)



平成21年度水と緑の森づくり事業費の内訳
(実績)



※事業費には森林整備・林業再生基金事業を含む

富山県森づくりプランにおける森づくり施策の目標と年度別実績等

○ 水と緑に恵まれた県土を支える多様な森づくりの推進

里山林の整備

年度	H19実績	H20実績	H21実績	H22計画	H28目標
整備面積(ha)	366	373	333	145	
延べ面積(ha)	366	739	1,073	1,218	2,000

混交林の整備

整備面積(ha)	61	74	132	214	
延べ面積(ha)	61	135	268	482	2,000

○ とやまの森を支える人づくりなどの推進

県民参加による森づくりの年間参加延べ人数

年度	H19実績	H20実績	H21実績	H28目標
参加人数(人)	6,920	10,033	10,999	7,000

一県民全体で支える森づくりの推進と森づくりの評価・改善一

I 水と緑の森づくり推進事業

○趣 旨

県民全体で支えるとやまの森づくりを推進し、森づくりの計画、実行の改善のための評価を実施します。

○平成21年度事業の実績

(1) 富山県水と緑の森づくり会議の開催

森づくり全般について、県内の各界の代表者や有識者から幅広く意見を伺いました。

第1回 平成21年4月22日

議題 平成20年度事業実施状況の報告
平成21年度の取り組みについて
県民による森づくり提案事業(県民実践活動事業)の審査

第2回 平成21年12月4日

議題 平成20年度事業の評価結果の報告
平成21年度事業の実施状況の報告
県民による森づくり提案事業(アイデア提案)の審査

(2) 富山県森林審議会森づくり部会の開催

水と緑の森づくり事業について、専門的・技術的立場から評価をいただきました。

平成21年6月10日

内容 事業実施地の現地視察(富山市婦中町)
平成20年度の事業評価の実施
平成21年度の事業概要の報告

—水と緑に恵まれた県土を支える多様な森づくりの推進—

Ⅱ 里山再生整備事業

○趣 旨

地域や生活に密着した里山を再生するため、里山の再生整備を県民協働で実施するとともに、カシノナガキクイムシ被害木の除去や竹資源の利用や竹林の整備を進めます。

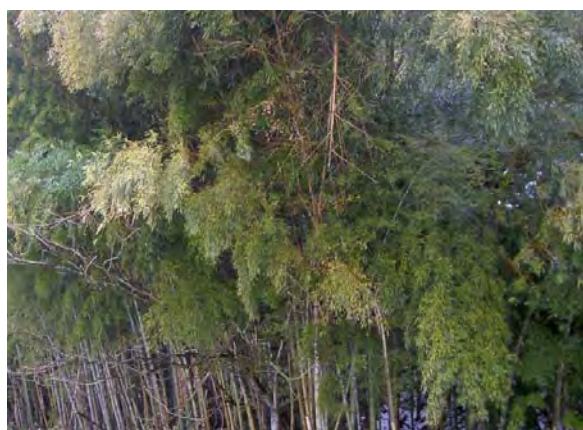
○平成21年度事業の実績

(1) 市町村による里山再生整備の実施

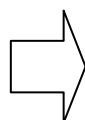
里山管理利用計画に基づく里山整備や地域住民による整備活動に支援を行ないました。また、竹林を広葉樹林に転換するための整備にも取り組みました。

【平成21年度実績】

事業実施地区	121地区（14市町）
対象面積	1,073ha
事業主体	市町村



これまで放置され、人が入り込めないほどに密生してしまった竹林を伐採、整理しました。



整理後は、地区住民等の手によって再発生してくる竹を伐採・駆逐し、美しい広葉樹の森の再生を目指して管理していきます。

(2) カシノナガキクイムシ被害木の除去の実施

立ち枯れ状態にある被害木を除去し、防災および景観の保全を図りました。

【平成21年度実績】

事業実施地区	54地区（14市町）
除去量	3,370m ³
事業主体	市町村



民家裏山にある枯損木を除去しました。

(3) 里山活用推進事業 《H21新規》

竹林の適切な管理をすすめるため、里山再生整備事業を実施している地域住民等に竹林の管理や新たな利用方法の体験を行いました。

【平成21年度実績】

取組内容

- ・かぐや姫の里デビュー講座の開催（5月9日 121名参加）
穂先タケノコなど新たな利用方法の指導
- ・とやまの竹資源ネットワークの結成（3月末現在 55団体登録）
竹林所有者や竹資源利用団体などを結びつけ、技術講習や情報を提供
7月11日 結成式、第1回講習会（特別講演・情報提供）の開催。99名参加
10月24日 かぐや姫の里の集いで竹材回収車（かぐやの竹舟号）を初運行。
11月19日 高岡市山川地区、氷見市小竹地区で本格運行。
3月 6日 第2回講習会（講習・情報提供、関連企業との相談会）の開催。90名参加
- ・とやまの竹利用アイデアコンテストの実施（6月4日～8月10日 99点応募）
だれにでもできる竹の利用方法を普及するためアイデアを募集
- ・かぐや姫の里の集いの開催（10月24日 250名参加）
竹林の管理技術、竹材の利用方法などの体験やアイデアコンテストの表彰、穂先タケノコの試食など

事業主体 県



「かぐや姫の里デビュー講座」では、穂先タケノコの利用方法などを指導し、「初めて食べたがおいしい、試してみたい」や「タケノコを掘るより簡単」と言った感想が聞かれました。



「かぐや姫の里の集い」では、竹材の集材体験や製紙会社が竹材をパルプ原料として無償で各地から回収する「かぐやの竹舟号」の初運行テープカットを行いました。

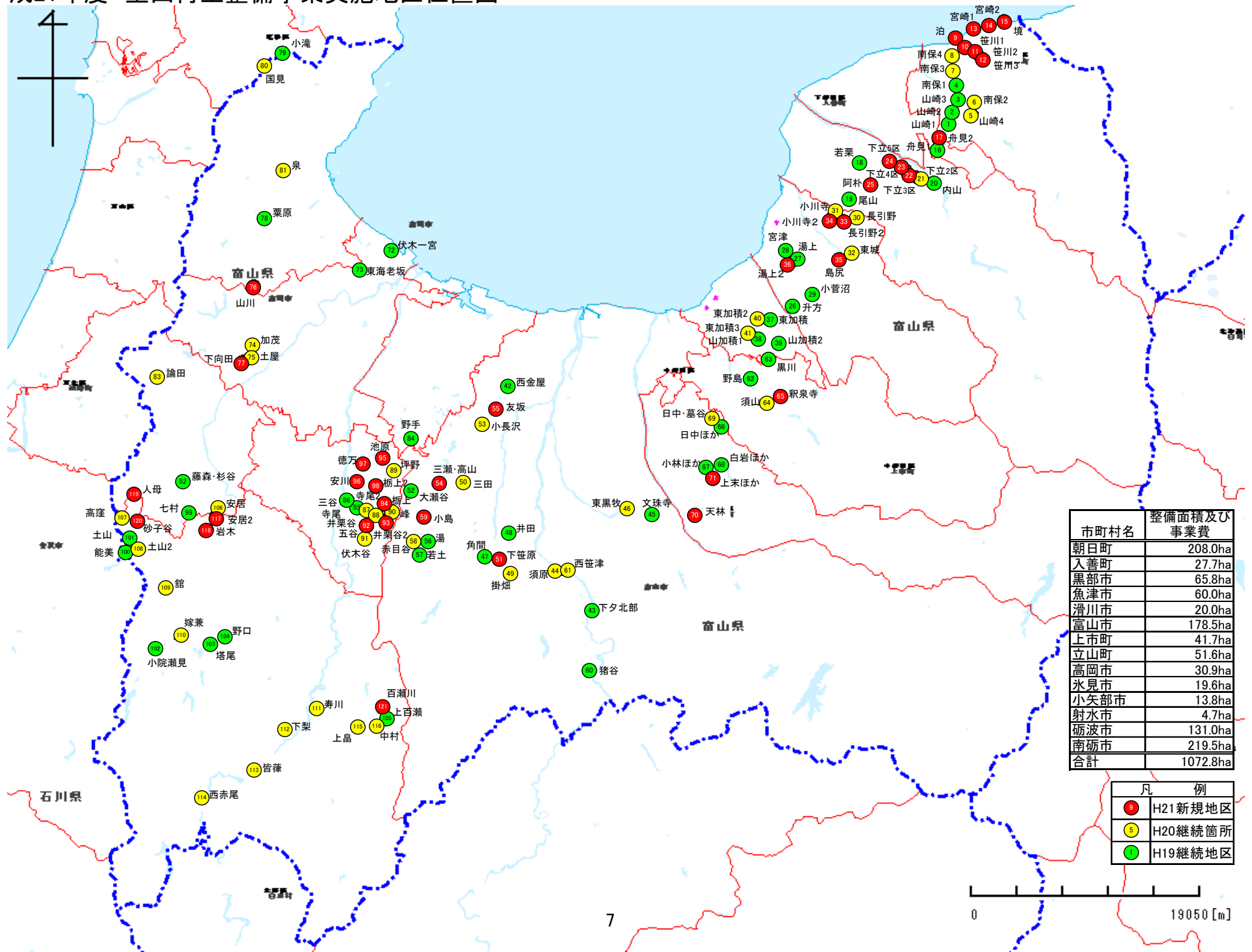
平成21年度 里山再生整備事業実施箇所一覧

市町村名	No.	ID No.	地区名	新規継続区分	事業期間	計画区域面積	平成21年度事業計画						県民参加の森づくり人数	うち地域住民以外	
							管理利用計画策定	広葉樹林等整備	竹林整備	竹林林種転換	風雪被害林等整備	県民参加の森づくり			里山活用促進事業
朝日町	1	1	山崎その1	継続	H19-21	12.0ha						○		318	
	2	2	山崎その2	継続	H19-21	12.0ha						○		192	
	3	3	山崎その3	継続	H19-21	11.0ha						○		186	
	4	4	南保	継続	H19-21	8.0ha						○		100	
	5	45	山崎その4	継続	H20-22	15.0ha						○		102	
	6	46	南保その2	継続	H20-22	15.0ha						○		174	
	7	47	南保その3	継続	H20-22	15.0ha						○		188	
	8	48	南保その4	継続	H20-22	15.0ha						○		130	
	9	85	泊その1	新規	H21-23	15.0ha	15.0ha	3.0ha				○		78	
	10	86	笹川その1	新規	H21-23	15.0ha	15.0ha	2.0ha				○		110	
	11	87	笹川その2	新規	H21-23	15.0ha	15.0ha	2.0ha				○		90	
	12	88	笹川その3	新規	H21-23	15.0ha	15.0ha	2.0ha				○		62	
	13	89	宮崎その1	新規	H21-23	15.0ha	15.0ha	3.0ha				○		61	
	14	90	宮崎その2	新規	H21-23	15.0ha	15.0ha	3.0ha				○		61	
	15	91	境	新規	H21-23	15.0ha	15.0ha	1.0ha				○		50	
小計			15地区			208.0ha	105.0ha	16.0ha				15地区		1,902	
入善町	16	5	舟見	継続	H19-21	17.7ha						○		38	
	17	92	舟見2	新規	H21-23	10.0ha	10.0ha	3.0ha							
小計			2地区			27.7ha	10.0ha	3.0ha				1地区		38	
黒部市	18	6	若栗	継続	H19-21	8.0ha						○		80	6
	19	7	尾山	継続	H19-21	13.5ha						○		13	
	20	8	内山	継続	H19-21	10.8ha						○		20	
	21	49	下立(2区)	継続	H20-22	13.1ha		2.0ha				○		29	
	22	93	下立(3区)	新規	H21-23	5.5ha	5.5ha	2.0ha				○		36	
	23	94	下立(4区)	新規	H21-23	3.7ha	3.7ha	2.0ha				○		26	
	24	95	下立(5区)	新規	H21-23	8.0ha	8.0ha	2.0ha				○		23	
	25	96	阿朴	新規	H21-23	3.2ha	3.2ha	1.5ha				○		45	
小計			8地区			65.8ha	20.4ha	9.5ha				8地区		272	6
魚津市	26	9	升方	継続	H19-21	5.0ha						○		7	
	27	10	湯上	継続	H19-21	5.0ha						○		7	
	28	11	宮津	継続	H19-21	10.0ha						○		7	
	29	12	小菅沼	継続	H19-21	5.0ha						○		9	
	30	50	長引野	継続	H20-22	5.0ha		1.2ha				○		7	
	31	51	小川寺	継続	H20-22	5.0ha						○		6	
	32	52	東城	継続	H20-22	5.0ha			0.5ha			○		9	
	33	97	長引野2	新規	H21-23	5.0ha	5.0ha	2.7ha							
	34	98	小川寺2	新規	H21-23	5.0ha	5.0ha	2.0ha							
	35	99	島尻	新規	H21-23	5.0ha	5.0ha	3.0ha							
36	100	湯上2	新規	H21-23	5.0ha	5.0ha	1.0ha	2.0ha							
小計			11地区			60.0ha	20.0ha	9.9ha	2.5ha			7地区		52	
滑川市	37	13	東加積	継続	H19-21	4.0ha		0.5ha				○		53	
	38	14	山加積1	継続	H19-21	4.0ha						○		20	
	39	15	山加積2	継続	H19-21	4.0ha						○		31	
	40	53	東加積2	継続	H20-22	4.0ha						○		68	
	41	54	東加積3	継続	H20-22	4.0ha						○		18	
小計			5地区			20.0ha		0.5ha				5地区		190	
富山市	42	16	西金屋	継続	H19-21	13.0ha			1.5ha			○		63	58
	43	17	下夕北部	継続	H19-21	5.0ha						○		10	
	44	55	須原	継続	H20-22	5.8ha			1.1ha			○		10	
	45	18	文珠寺	継続	H19-21	4.2ha		1.6ha		0.4ha		○		14	
	46	56	東黒牧	継続	H20-22	8.8ha						○		27	12
	47	19	角間	継続	H19-21	10.8ha		2.0ha				○		45	4
	48	20	井田	継続	H19-21	10.1ha						○		266	230
	49	57	掛畑	継続	H20-22	11.4ha		2.0ha	0.5ha	0.2ha		○		45	
	50	58	三田	継続	H20-22	9.4ha		3.1ha	0.4ha			○		38	
	51	101	下笹原	新規	H21-23	8.0ha	8.0ha	2.0ha							
	52	21	大瀬谷	継続	H19-21	15.0ha				0.6ha		○	薪割り機	30	
	53	59	小長沢	継続	H20-22	13.8ha		1.4ha	2.3ha	1.0ha	0.3ha	○	休憩所	26	
	54	102	三瀬・高山	新規	H21-23	6.4ha	6.4ha	0.4ha	0.9ha			○		18	
	55	103	友坂	新規	H21-23	8.2ha	8.2ha		1.6ha			○		28	
	56	22	湯	継続	H19-21	13.5ha		1.0ha	0.3ha			○		50	
	57	23	若土	継続	H19-21	14.7ha		3.4ha		1.1ha		○		30	
58	60	赤目谷	継続	H20-22	4.1ha			1.0ha	0.6ha		○		16		
59	104	小島	新規	H21-23	4.0ha	4.0ha	0.5ha	0.5ha							
60	24	猪谷	継続	H19-21	6.7ha						○		21		
61	61	西笹津	継続	H20-22	5.6ha			1.2ha			○		22		
小計			20地区			178.5ha	26.6ha	17.4ha	13.5ha	3.9ha	0.3ha	18地区		759	304

平成21年度 里山再生整備事業実施箇所一覧

市町村名	No.	ID No.	地区名	新規継続区分	事業期間	計画区域面積	平成21年度事業計画						県民参加の森づくり人数	うち地域住民以外	
							管理利用計画策定	広葉樹林等整備	竹林整備	竹林林種転換	風雪被害林等整備	県民参加の森づくり			里山活用促進事業
上市町	62	25	野島	継続	H19-21	13.0ha			0.6ha		○		20		
	63	26	黒川	継続	H19-21	9.0ha					○		16		
	64	62	須山-1	継続	H20-22	14.7ha			5.0ha	7.0ha	○		12		
	65	105	釈泉寺	新規	H21-23	5.0ha	5.0ha		1.0ha						
小計			4地区			41.7ha	5.0ha		6.6ha	7.0ha		3地区		48	
立山町	66	27	日中ほか	継続	H19-21	4.1ha					○		13		
	67	28	小林ほか	継続	H19-21	10.5ha					○		9		
	68	29	白岩ほか	継続	H19-21	7.8ha					○		5		
	69	63	日中・墓谷	継続	H20-22	4.4ha					○		18		
	70	106	天林	新規	H21-23	11.5ha	11.5ha	4.0ha							
71	107	上末ほか	新規	H21-23	13.3ha	13.3ha	3.6ha								
小計			6地区			51.6ha	24.8ha	7.6ha				4地区		45	
高岡市	72	30	伏木一宮	継続	H19-21	5.1ha		0.5ha			○		1,425		
	73	31	東海老坂	継続	H19-21	4.0ha					○		53		
	74	64	福岡町加茂	継続	H20-22	4.5ha					○		35		
	75	65	福岡町土屋	継続	H20-22	4.6ha		2.5ha		1.5ha	○		72		
	76	108	山川	新規	H21-23	5.7ha	5.7ha	5.2ha	0.5ha						
77	109	福岡町下向田	新規	H21-23	7.0ha	7.0ha		4.5ha							
小計			6地区			30.9ha	12.7ha	8.2ha	5.0ha	1.5ha		4地区		1,585	
氷見市	78	32	粟原	継続	H19-21	5.0ha					○		26		
	79	33	小滝	継続	H19-21	5.0ha					○		22		
	80	66	国見	継続	H20-22	5.0ha					○		19		
	81	67	泉	継続	H20-22	4.6ha				0.9ha	○		34		
小計			4地区			19.6ha				0.9ha		4地区		101	
小矢部市	82	34	藤森・杉谷	継続	H19-21	5.7ha					○		76		
	83	68	論田	継続	H20-22	8.1ha		2.9ha			○		24		
小計			2地区			13.8ha		2.9ha				2地区		100	
射水市	84	35	野手	継続	H19-21	4.7ha					○		124		
小計			1地区			4.7ha						1地区		124	
砺波市	85	36	寺尾	継続	H19-21	10.0ha				2.6ha	○		11	3	
	86	37	三谷	継続	H19-21	10.0ha				1.2ha	○		57	6	
	87	69	寺尾その2	継続	H20-22	10.0ha				1.3ha	○		10		
	88	70	井栗谷	継続	H20-22	13.0ha			1.2ha	1.2ha	○		23		
	89	71	坪野	継続	H20-22	8.0ha					○		26		
	90	72	峰	継続	H20-22	8.0ha				1.5ha	○		23		
	91	73	伏木谷	継続	H20-22	15.0ha			1.5ha		○		9		
	92	110	五谷	新規	H21-23	10.0ha	10.0ha		1.0ha						
	93	111	井栗谷その2	新規	H21-23	8.0ha	8.0ha		1.9ha						
	94	112	栃上	新規	H21-23	8.0ha	8.0ha		1.0ha						
	95	113	池原	新規	H21-23	8.0ha	8.0ha		1.8ha						
	96	114	安川	新規	H21-23	6.0ha	6.0ha	1.0ha	0.6ha						
	97	115	徳万	新規	H21-23	7.0ha	7.0ha	1.0ha	0.2ha		0.1ha				
98	116	栃上その2	新規	H21-23	10.0ha	10.0ha		1.0ha							
小計			14地区			131.0ha	57.0ha	2.0ha	10.2ha	7.8ha	0.1ha	7地区		159	
南砺市	99	38	七村	継続	H19-21	5.2ha					○		12		
	100	39	能美	継続	H19-21	6.4ha					○		14		
	101	40	土山	継続	H19-21	9.9ha					○		49		
	102	41	小院瀬見	継続	H19-21	6.5ha					○		13		
	103	42	塔尾	継続	H19-21	6.1ha					○		5		
	104	43	野口	継続	H19-21	6.9ha					○		40		
	105	44	上百瀬	継続	H19-21	9.0ha					○		5		
	106	74	安居	継続	H20-22	8.9ha		2.8ha		1.0ha	○		10		
	107	75	高窪	継続	H20-22	13.5ha		2.4ha	1.2ha	0.8ha	○		128		
	108	76	土山その2	継続	H20-22	8.5ha		1.6ha			○		47		
	109	77	館	継続	H20-22	8.4ha		1.7ha			○		30		
	110	78	嫁兼	継続	H20-22	9.3ha		1.4ha	0.4ha		○		74		
	111	79	寿川	継続	H20-22	9.1ha					○		11		
	112	80	下梨	継続	H20-22	8.8ha		1.0ha			○		21		
	113	81	皆律	継続	H20-22	13.0ha		1.5ha			○		30		
	114	82	西赤尾町	継続	H20-22	14.1ha					○		14		
	115	83	上畠	継続	H20-22	10.2ha		2.4ha			○		12		
116	84	中村	継続	H20-22	14.3ha		1.8ha			○		40			
117	117	安居その2	新規	H21-23	8.6ha	8.6ha	2.7ha	1.0ha							
118	118	岩木	新規	H21-23	8.0ha	8.0ha		1.3ha							
119	119	人母	新規	H21-23	11.9ha	11.9ha		1.2ha							
120	120	砂子谷	新規	H21-23	13.3ha	13.3ha	0.7ha	2.1ha							
121	121	百瀬川	新規	H21-23	9.6ha	9.6ha	3.0ha								
小計			23地区			219.5ha	51.4ha	23.0ha	7.2ha	1.8ha		18地区		555	
総計			121地区			1072.8ha	332.9ha	100.0ha	45.0ha	22.9ha	0.4ha	97地区	2地区	5,930	319

平成21年度 里山再生整備事業実施地区位置図



市町村名	整備面積及び事業費
朝日町	208.0ha
入善町	27.7ha
黒部市	65.8ha
魚津市	60.0ha
滑川市	20.0ha
富山市	178.5ha
上市町	41.7ha
立山町	51.6ha
高岡市	30.9ha
氷見市	19.6ha
小矢部市	13.8ha
射水市	4.7ha
砺波市	131.0ha
南砺市	219.5ha
合計	1072.8ha

凡 例	
● (Red)	H21新規地区
● (Yellow)	H20継続箇所
● (Green)	H19継続地区

Ⅲ みどりの森再生事業

○趣 旨

人工林の公益的機能の向上を図るため、風雪被害林や過密人工林などを、スギと広葉樹の混交林へと誘導するための森林整備を実施するとともに、県産の広葉樹苗を県民の協力を得て育成します。

○平成21年度事業の実績

(1) 風雪被害林・過密人工林の整理の実施

混交林化を促進するための伐採・整理とともに、広葉樹を植栽しました。

【平成21年度実績】

整備面積	・風雪被害林整理	30.5ha
	・過密人工林整理	101.7ha
事業主体	県	

(2) 県産広葉樹苗の育成等

県民の皆さんにドングリの「里親」となっていただき、針広混交林への誘導などに必要な苗木を育てています。

また、その苗を植樹するイベント「みどりの里親の集い」を開催しました。

【平成21年度実績】

・コナラ、クリ、コブシなど 30,000本を育成

・みどりの里親の集いの開催（11月7日、185名参加）

事業実施箇所	南砺市法林寺（南砺市立福光美術館裏）
取組内容	風雪被害林整理跡地にコナラ等約1,200本を植栽
事業主体	県（とやまの森づくりサポートセンターに委託）



台風の被害にあった森林も伐採・整理から2年が経過し、スギと広葉樹の混ざりあったみどり豊かな森に再生しつつあります。
（高岡市福岡町上野 地内）

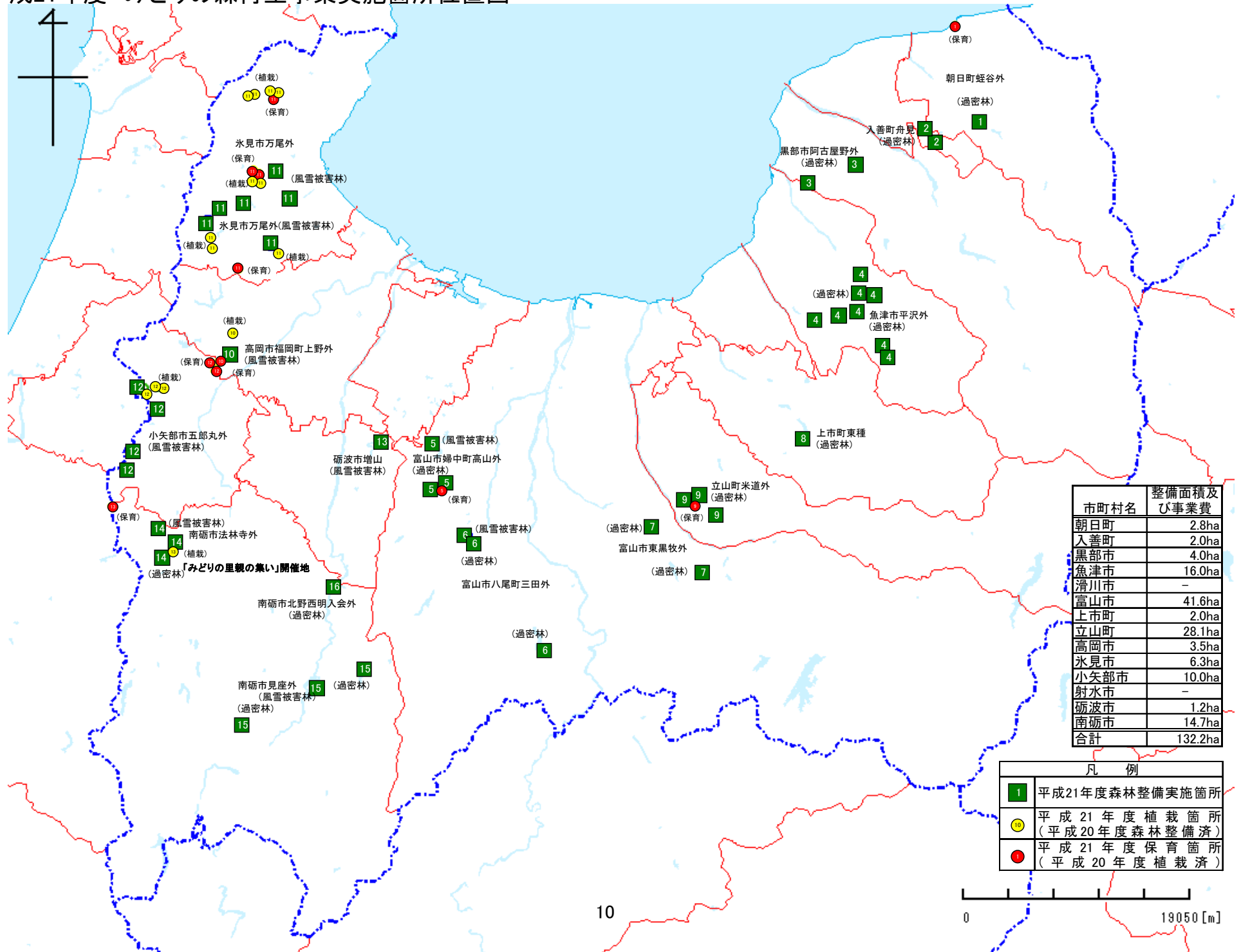


「みどりの里親の集い」では、参加者らは大きく育つように願いを込め、丁寧に作業をしていました。

平成21年度 みどりの森再生事業実施箇所一覧

番号	市町村	箇所名	平成21年度事業実施状況					
			主要事業内容				植栽面積	保育面積
			整理面積	風雪被害林整理	過密人工林整理			
21-1	朝日町	蛭谷	2.8ha		2.8ha		0.1ha	
21-2	入善町	舟見	2.0ha		2.0ha			
21-3	黒部市	阿古屋野外	4.0ha		4.0ha			
21-4	魚津市	平沢外	16.0ha		16.0ha			
21-5	富山市	婦中町高山外	8.2ha	0.8ha	7.4ha			
21-6	富山市	八尾町三田外	9.3ha	1.9ha	7.4ha		0.2ha	
21-7	富山市	東黒牧	24.1ha		24.1ha			
	富山市計		41.6ha	2.7ha	38.9ha		0.2ha	
21-8	上市町	東種	2.0ha		2.0ha			
21-9	立山町	米道外	28.1ha		28.1ha		0.5ha	
21-10	高岡市	福岡町上野外	3.5ha	3.5ha		0.1ha	0.5ha	
21-11	氷見市	万尾外	6.3ha	6.3ha		0.4ha	0.8ha	
21-12	小矢部市	五郎丸外	10.0ha	10.0ha		0.2ha	0.2ha	
21-13	砺波市	増山	1.2ha	1.2ha				
21-14	南砺市	法林寺外	8.1ha	5.9ha	2.2ha	0.6ha	0.3ha	
21-15	南砺市	見座外	5.3ha	0.9ha	4.4ha			
21-16	南砺市	北野西明入会	1.3ha		1.3ha			
	南砺市計		14.7ha	6.8ha	7.9ha	0.6ha	0.3ha	
	総計		132.2ha	30.5ha	101.7ha	1.3ha	2.6ha	

平成21年度 みどりの森再生事業実施箇所位置図



市町村名	整備面積及び事業費
朝日町	2.8ha
入善町	2.0ha
黒部市	4.0ha
魚津市	16.0ha
滑川市	-
富山市	41.6ha
上市町	2.0ha
立山町	28.1ha
高岡市	3.5ha
氷見市	6.3ha
小矢部市	10.0ha
射水市	-
砺波市	1.2ha
南砺市	14.7ha
合計	132.2ha

凡 例	
■	平成21年度森林整備実施箇所
●	平成21年度植栽箇所 (平成20年度森林整備済)
●	平成21年度保育箇所 (平成20年度植栽済)

—とやまの森づくりを支える人づくりなどの推進—
IVとやまの森づくりサポートセンター活動推進事業

○趣 旨

県民参加による森づくりを推進するため、森林ボランティアの活動等を総合的・専門的に支援します。

○平成21年度事業の実績

(1) 登録団体数等 (平成22年3月末現在)

- 一般登録 : 67団体 3,633人
- 企業登録 : 37企業

(2) ボランティアの活動支援の実施

- ・ヘルメットや草刈り鎌、伐採木竹を処理するチップパーなどの機材の貸出
- ・登録ボランティア団体への活動経費や保険料の支援
- ・ボランティアの森林作業技術等の向上のための「森づくり塾」の開催
自らプログラムの実施や企画・運営できるチーフの養成 など

(3) 体験ボランティアやボランティアのネットワーク化支援の実施

- ・森づくりボランティアの集いや交流会の開催
- ・飛越源流の森づくりへの参加
- ・ボランティア交流サロンの管理 など

(4) PR活動の実施

- ・登録団体が活動時に掲げる「のぼり旗」や「バッヂ」の配布
- ・サポートセンターや企業の森づくりのPRパンフレットの配布
- ・登録団体やサポートセンターの活動をPRするパネルの展示 など



伐採木竹を処理するチップパーを貸し出しました。



「森づくり塾」では機械の操作実習や安全講習などを実施しました。



企業とボランティア団体の協働した森づくりを支援しました。

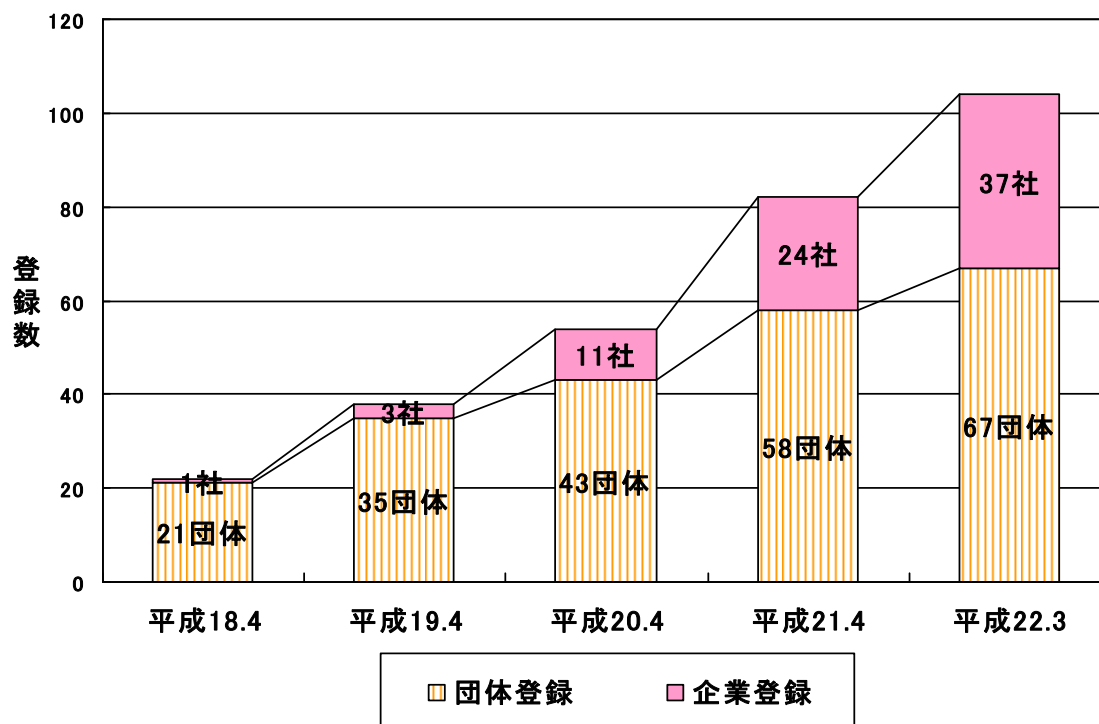


森林所有者との協定の締結など、ボランティア団体や企業の森づくり活動を積極的に支援しました。

平成21年度 県民参加による森づくり参加延べ人数

類別	活動回数	延べ参加人数	H20実績	H19実績
サポートセンター登録団体・個人				
森林整備型	201回	1,185人	1,216人	926人
体験参加型	518回	5,698人	4,895人	5,257人
小計	719回	6,883人	6,111人	6,183人
企業の森づくり	88回	2,903人	2,707人	407人
サポートセンター主催活動	3回	523人	613人	277人
計	810回	10,309人	9,431人	6,867人
里山再生整備事業（地域外の参加者数）		690人	602人	53人
総計		10,999人	10,033人	6,920人

（参考） サポートセンター登録団体数、登録企業数の推移



平成21年度 サポートセンター登録団体等一覧表

I サポートセンター登録団体・個人

平成22年3月31日 現在

	登録年月	団体名称	事務局	会員数	備考
1	H18.03	あそあそ自然学校	上市町浅生15	35	
2	H18.03	草刈り十字軍運動本部	富山市安養寺110	77	
3	H18.03	雑木囃子	砺波市東別所5303	30	
4	H18.03	財団法人オイスカ富山県支部	富山市下大久保2412-9	20	
5	H18.03	南砺の山々を守る実行委員会	南砺市高儀387-14	32	
6	H18.03	富山県フォレストリーダー協会	射水市射水町2-1-2	110	
7	H18.03	片貝川の流れを戻す会	魚津市道坂103-4	50	
8	H18.03	NPO法人グリーンツリームとやま	富山市新保44-1	52	
9	H18.03	森づくりボランティア「天林森の会」	富山市大江干新町38	52	
10	H18.03	とやま森林サポーターの会	富山市掛尾町341番地	31	
11	H18.03	とやま森林サポーター二期会	氷見市西朴木294番地	30	
12	H18.03	とやま森林サポーター三期会	立山町蔵本新392番地	30	
13	H18.03	とやま森林サポーター四期会	富山市大手町4-20	39	
14	H18.03	NPO法人とやまの木で家をつくる会	富山市元町2-3-18	114	
15	H18.03	どんぐりころりん会	立山町五百石165	48	
16	H18.03	火見城発伸の会	氷見市飯久保125	28	
17	H18.04	環境教育ネットワークとやまエコひろば	高岡市中川園町5-14	20	
18	H18.04	とやま森林づくりボランティアの会	富山市朝葉町1丁目67-5	62	
19	H18.04	とやま森林インストラクター会	砺波市東別所5303番地	21	
20	H18.04	地域福祉協会	富山市安住町5-21	14	
21	H18.04	グリーンサポート 十夢草野の会	高岡市白金町7-15	30	
22	H18.05	社会福祉法人 めひの野園	富山市西金屋6694-4	10	
23	H18.05	木と暮らそうネット	富山市婦中町新屋507	30	
24	H18.05	ぎんたろう倶楽部	富山市古沢254	784	
25	H18.05	市民いきものメイト	富山市古沢254	242	
26	H18.06	呉羽丘陵 ” 森の楽校”	富山市小杉120	40	
27	H18.06	とやま森林と人ネットワーク	氷見市惣領296	50	
28	H18.08	小矢部市立 蟹谷(かんだ)中学校	小矢部市藤森60番地	113	
29	H18.08	社会福祉法人 「溪明園」	小矢部市論田8番地	10	
30	H18.09	八尾ふるさと発見塾	富山市八尾町角間250-1	50	
31	H18.10	伏木ふれあいの杜 管理協力会	高岡市伏木一宮2丁目3番29号	200	
32	H18.10	上市町立 上市中学校 生徒会	中新川郡上市町稗田1番地	80	
33	H18.11	夢創塾(むそうじゅく)	下新川郡朝日町蛭谷469	10	
34	H19.02	森のむささび	高岡市福岡町五位1207	35	
35	H19.04	グループ樹の実	黒部市生地神区207-3	35	
36	H19.04	NPO法人森林総合支援センター	富山市婦中町鷺谷7	37	
37	H19.05	梅檀野さくらの会	砺波市芹谷1036	34	
38	H19.05	小矢部里山を守る会	小矢部市泉町3-9	8	
39	H19.05	Bamboo saves the earth	富山市婦中町希望ヶ丘654	10	
40	H19.08	富山県林友クラブ	富山市舟橋北町4-19	150	
41	H20.02	砺波里山再生の会	砺波市福岡445	10	
42	H20.02	阿古屋野森づくりクラブ	滑川市清水町7-17	26	
43	H20.04	瞳々の会(とうとうのかい)	南砺市西赤尾町183	14	
44	H20.05	富山県立 新生園	高岡市麻生谷3835	50	
45	H20.06	NPO法人 黒河竹炭友の会	射水市東太閤山2-77	18	
46	H20.07	エコロの森ネイチャークラブ	富山市文京町3-4-8	10	
47	H20.09	里山と共に	高岡市福岡町三日市195	5	
48	H20.09	クリキンティの森づくりの会	魚津市坪野574	15	
49	H20.10	悠遊会(ゆうゆうかい)	高岡市頭川2993	30	
50	H20.10	上田・森と仲間づくり・炭竹会	氷見市上田1557	20	
51	H20.10	しんゆう倶楽部	富山市割山9-1割山森林公園「天湖森」	72	
52	H20.11	アートNPOヒミング	氷見市大町7-6	11	
53	H21.01	ぶなっこ会	射水市内	20	
54	H21.01	山平の森を育てる会	富山市稲代11-205	12	
55	H21.02	ふるさと再生塾	富山市寺町けや木台109	6	

56	H21.02	ビーフレンド山と森の共同組合		10
57	H21.03	閑乗寺の会	南砺市井波962-17	12
58	H21.03	富山県がうん天蚕の会	富山市朝菜町2-704-4	10
59	H21.04	富山国際大学環境サークル	富山市東黒牧65-1 富山国際大学	15
60	H21.05	土屋背戸山を守る会	高岡市福岡町土屋103	143
61	H21.05	樵舎(たきぎのかい)	南砺市利賀村上百瀬537	12
62	H21.06	小菅沼・ヤギの杜	魚津市鹿熊6	10
63	H21.07	泉里山守る会	氷見市泉2159	37
64	H21.10	氷見 竹楽座	氷見市数田119-3	5
65	H22.02	下向田里山を守る会	高岡市福岡町下向田187	43
66	H22.03	小長沢大山の森を守る会	富山市婦中町小長沢436-3	60
67	H22.03	三高花木の会	富山市婦中町三瀬18	30
小計				3,559
個人登録者				74
計				3,633

II サポートセンター登録企業

平成22年3月31日 現在

	登録年月	企業名称	事務局	社員(会員)数
1	H18.03	北陸功・コラグループ「うるおいの森づくり」有志の会	高岡市内島3550番地	350
2	H18.05	イオン株式会社ジャスコ高岡南店	高岡市下伏間江383番地	400
3	H18.10	(株)国際電気ビルメンテナンス(富山事業所)	富山市八尾町保内2-9-2	139
4	H19.05	(株)トヨックス	黒部市前沢4371	261
5	H19.05	北星ゴム工業(株)	黒部市岡362-14	470
6	H19.05	ダイヤテックス(株)	黒部市沓掛2000	270
7	H19.07	川端鐵工(株)	黒部市生地芦区247	80
8	H19.09	YKKグループ黒部事業所	黒部市吉田200	6,400
9	H19.11	ウッドリンク株式会社 フォルスタクラブ	射水市寺塚原415	150
10	H19.12	藤堂工業株式会社	滑川市上島838	150
11	H20.01	杉林グループ“安心の森づくり”クラブ	射水市西高木1184番地	230
12	H20.04	日本労働組合総連合会富山県連合会(連合富山)	富山市奥田新町8-1	68,000
13	H20.04	クラシエ製菓(株)高岡工場	高岡市鐘紡町3-1	200
14	H20.05	北陸電力グループ 森に恩返し活動実行委員会とやま	富山市牛島町13-15	22
15	H20.05	北陸電力グループ 森に恩返し活動実行委員会うおづ	魚津市新金屋1-12-12	30
16	H20.06	岸田木材株式会社	氷見市十二町万尾町247-1	27
17	H20.06	国際電気テクノサービス株式会社	富山市八尾町保内2-1	70
18	H20.07	日本海ガス株式会社	富山市城北町保内2-36	350
19	H20.09	株式会社富山村田製作所	富山市上野345	1,300
20	H20.09	株式会社高松メッキ	富山市八尾町保内2-10	220
21	H20.11	TOTO株式会社 北陸支社	金沢市鞍月4-110	20
22	H20.11	大和ハウス工業株式会社富山支店	富山市天正寺68番地	126
23	H21.02	(株)日立国際電気	富山市八尾町保内2-1	506
24	H21.03	ヤマサン食品工業株式会社	射水市黒河3197	156
25	H21.03	ノエビア富山販売株式会社	富山市経堂1-102-2	50
26	H21.04	日の出屋製菓産業株式会社	南砺市田中411	364
27	H21.04	リ-テックシステム株式会社富山S&S営業部	富山市堀川町313	50
28	H21.05	中越パルプ工業株式会社 高岡工場	高岡市米島282	448
29	H21.05	中越ロジスティクス株式会社	高岡市米島282	339
30	H21.05	中越緑化株式会社	高岡市米島282	36
31	H21.06	(財)ニッセイ緑の財団	東京都港区虎ノ門1-21-17	200
32	H21.07	大洋住宅株式会社	富山市大町225-1	20
33	H21.08	富山県生活協同組合	富山市金屋555	200
34	H21.08	中越テクノ(株)	高岡市米島282	30
35	H21.10	矢崎総業(株)富山支店	富山市五福新町5723	15
36	H21.10	北越電装株式会社	上市町砂林開181	215
37	H21.10	ドコモ北陸グループ	金沢市西都1-5	960
38	H22.03	大高建設株式会社	黒部市宇奈月温泉633-1	57

—とやまの森づくりを支える人づくりなどの推進—

V とやまの森づくり総合情報システム事業

〇趣 旨

森づくりへの県民の理解を深め、県民参加を推進するため、とやまの森の現状や森づくり活動に関する情報を県民の皆さんに提供します。

〇平成21年度事業の実績

(1) 森林GISシステムの運用

平成19年度に整備した「森林GISシステム」により、森林情報の分析や里山再生整備事業などの実施区域を整理し、水と緑の森づくり事業の評価・公表に活用しています。

(2) とやまの森づくりホームページの公開

「とやまの森づくりホームページ」を公開し、森林GISシステムを用いて作成した、とやまの森に関する情報図や、水と緑の森づくり事業の情報をリアルタイムで紹介しています。

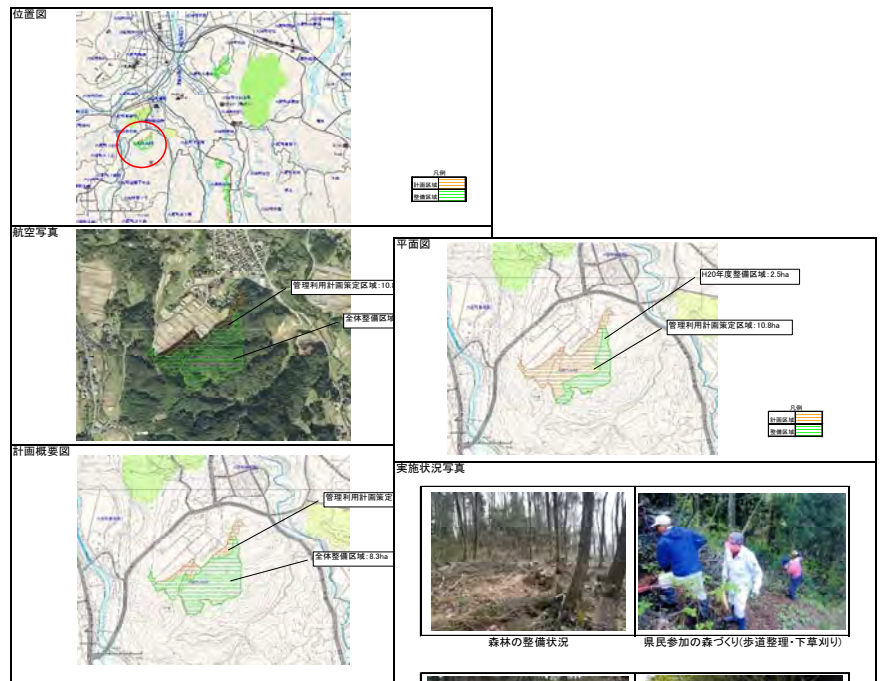
・平成21年度アクセス件数 9,041 件（平成22年3月31日現在）

URL <http://www.pref.toyama.jp/sections/1603/moridukuri/index.html>

とやまの森づくりホームページ

《トップページ》

《事業実施状況の情報（里山再生整備事業地）》



特記事項
 (整備の方針)
 ・林内の灌木・低木類のほか、小径級木を中心に40%程度の整理伐を実施する。
 (事業の実績)
 ・森林の整備後、地域住民とボランティアの協働による森づくり活動が実施され、交流が図られた。
 ・森林の整備後、カタクリの開花面積が倍化し、市内外各地から当地を訪れる人々が多数見受けられた。

水と緑の森づくり事業の実施状況などについての情報発信を行っています。

平成 21 年度 とやまの森づくり総合情報システム事業について

○事業実績

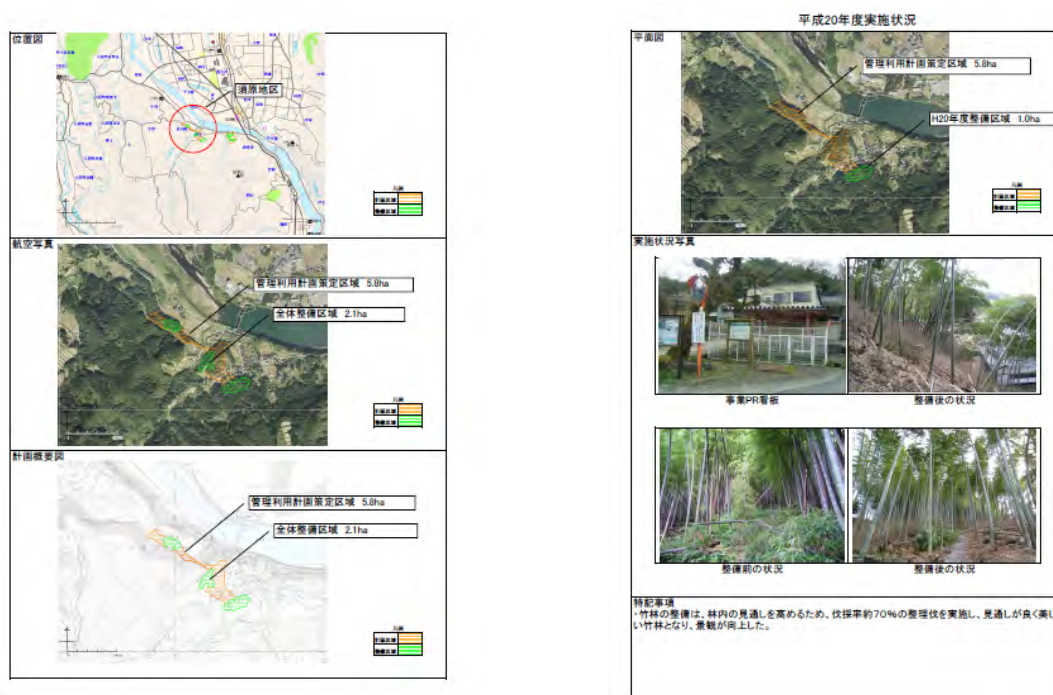
1 森林 GIS の運用・活用

(1) 水と緑の森づくり事業地情報図の作成

水と緑の森づくり事業の結果及びその効果を、わかりやすく情報提供するための情報図を森林GISを活用し作成。

(H21年度 里山再生整備事業：121地区、みどりの森再生事業：16地区)

(参考) 里山再生整備事業地の地区別実施調書



(2) 竹林箇所の情報提供

平成 20 年度に把握したスギ・竹林の分布データを「森林GISシステム」に取り込み、竹林位置情報が提供可能となる。このことにより、里山再生整備事業等の竹林整備計画の策定に活用。

(参考) 竹林位置情報表示例



2 とやまの森づくりホームページの公開

森林GISを用いて作成した、とやまの森に関する情報図や、水と緑の森づくり事業に関する情報をリアルタイムで紹介。

(アクセス件数 20,012件 平成22年3月31日現在)

とやまの森づくりホームページ



公開している「穂先タケノコの採取と利用方法」

穂先タケノコの採取と利用方法について



調理方法としては、てんぷら、きんぴら、ピーナッツ和え、中華炒めなど多数あります。

Ⅵ とやまの森づくり普及啓発推進事業

○趣 旨

森づくりへの県民の理解を深め、県民参加を推進するため、出前講座や森林教室を開催します。

○平成21年度事業の実績

(1) 「森の寺子屋」の開催

児童・生徒をはじめ、広く一般県民を対象に「森の寺子屋」を開催しました。

【平成21年度実績】

開催回数 85回

内訳〔 出前講座 51回 (参加人数 3,053人) 〕
〔 森林教室 34回 (参加人数 2,278人) 〕

(2) フォレストリーダーのスキルアップ

「森の寺子屋」の指導者となるフォレストリーダーのスキルアップを図るための研修会を実施しました。

【平成21年度実績】

スキルアップ研修の開催 2回

(第1回 平成22年2月28日、第2回 平成22年3月13日)

「森の寺子屋」実施状況



平成20年度に作成した「とやま森の教本」を活用して、とやまの森の働き等を解説しています。



里山再生整備事業で整備された里山林を散策しながら、里山林の姿等について解説しています。



カシノナガキクイムシによる被害木を観察し、放置された里山林の問題点等を解説しています。



「とやまの竹利用アイデアコンテスト」優秀作品の作成を指導し、身近に使える簡易な竹製品の普及を図っています。

平成21年度 森の寺子屋開催実績

開催回数	開催年月日 年 月 日	開催要請者	対象者			『森の寺子屋』の内容	
			区分	学年等	人数	区分	具体的内容
1	21 / 4 / 15	砺波市立庄東小学校	児童	庄東小学校6年生	33	森林教室	自然解説、巣箱掛けの指導
2	21 / 4 / 24	立山町西部児童館	児童	小学校1～3年生	26	出前講座 森林教室	森のはたらき 竹笛、名札作りの指導
3	21 / 4 / 30	(社)日本青年会議所 北信越地区協議会 (射水市立太閤山小学校)	児童	小学校5年生	94	出前講座 森林教室	森林整備と間伐材利用の必要性 間伐材箸づくりの指導
4	21 / 5 / 4	(財)花と緑の銀行	一般		82	森林教室	クイズを通しての森林解説、しいたけ植菌指導
5	21 / 5 / 7	(社)日本青年会議所 北信越地区協議会 (富山市立豊田小学校)	児童	小学校5年生	161	出前講座 森林教室	森林整備と間伐材利用の必要性 間伐材箸づくりの指導
6	21 / 5 / 9	富山県	一般		130	森林教室	竹林整備の指導
7	21 / 5 / 13	(社)日本青年会議所 北信越地区協議会 (黒部市立宇奈月小学校)	児童	小学校5年生	52	出前講座 森林教室	森林整備と間伐材利用の必要性 間伐材箸づくりの指導
8	21 / 5 / 16	(財)富山県民福祉公園	児童		60	森林教室	しいたけ植菌の指導
9	21 / 5 / 18	(社)日本青年会議所 北信越地区協議会 (富山市立堀川小学校)	児童	小学校5年生	116	出前講座 森林教室	森林整備と間伐材利用の必要性 間伐材箸づくりの指導
10	21 / 5 / 19	(社)日本青年会議所 北信越地区協議会 (魚津市立道下小学校)	児童	小学校5、6年生	105	出前講座 森林教室	森林整備と間伐材利用の必要性 間伐材箸づくりの指導
11	21 / 5 / 20	(社)日本青年会議所 北信越地区協議会 (氷見市立十二町小学校)	児童	小学校5年生	20	出前講座 森林教室	森林整備と間伐材利用の必要性 間伐材箸づくりの指導
12	21 / 5 / 22	(社)日本青年会議所 北信越地区協議会 (高岡市立定塚小学校)	児童	小学校5、6年生	147	出前講座 森林教室	森林整備と間伐材利用の必要性 間伐材箸づくりの指導
13	21 / 5 / 22	立山町立釜ヶ淵小学校	児童	小学校5、6年生	25	森林教室	森林と野鳥観察
14	21 / 5 / 25	(社)日本青年会議所 北信越地区協議会 (富大付属小学校)	児童	小学校5年生	70	出前講座 森林教室	森林整備と間伐材利用の必要性 間伐材箸づくりの指導
15	21 / 5 / 26	(社)日本青年会議所 北信越地区協議会 (小矢部市立大谷小学校)	児童	小学校4年生	79	出前講座 森林教室	森林整備と間伐材利用の必要性 間伐材箸づくりの指導
16	21 / 5 / 26	(社)日本青年会議所 北信越地区協議会 (滑川市立寺家小学校)	児童	小学校4年生	40	出前講座 森林教室	森林整備と間伐材利用の必要性 間伐材箸づくりの指導
17	21 / 5 / 27	(社)日本青年会議所 北信越地区協議会 (黒部市立前沢小学校)	児童	小学校6年生	12	出前講座 森林教室	森林整備と間伐材利用の必要性 間伐材箸づくりの指導
18	21 / 5 / 28	(社)日本青年会議所 北信越地区協議会 (黒部市立三日市小学校)	児童	小学校6年生	60	出前講座 森林教室	森林整備と間伐材利用の必要性 間伐材箸づくりの指導
19	21 / 5 / 28	(社)日本青年会議所 北信越地区協議会 (小矢部市立石動小学校)	児童	小学校4年生	84	出前講座 森林教室	森林整備と間伐材利用の必要性 間伐材箸づくりの指導
20	21 / 5 / 29	富山県	一般		200	森林教室	クイズを通しての森林解説
21	21 / 6 / 1	富山市立神保小学校	児童	小学校4年生	50	森林教室	森林観察をもとにしたクイズ
22	21 / 6 / 4	入善町立入膳小学校	児童	小学校6年生	67	出前講座 森林教室	森林と間伐材 竹笛作りの指導
23	21 / 6 / 11	夢創塾	児童	小学校6年生	26	森林教室	茶筌づくりの指導
24	21 / 6 / 13	上市町立中央小学校	児童	小学校4年生	79	出前講座 森林教室	森林の働きと環境との関わり 間伐材箸づくりの指導
25	21 / 6 / 14	上市町立中央小学校	児童	小学校4年生	80	出前講座 森林教室	森林の働きと環境との関わり 間伐材箸づくりの指導
26	21 / 6 / 15	ひばり児童センター	児童	小学校1～3年生	25	森林教室	小枝のボールペン作りの指導
27	21 / 6 / 18	富山市立八尾小学校	児童	小学校4年生	78	森林教室	森林内散策、説明
28	21 / 6 / 19	富山市立東部小学校	児童	小学校5年生	70	森林教室	花鉢作成の指導
29	21 / 7 / 2	夢創塾	児童	小学校6年生	25	森林教室	炭焼体験の指導
30	21 / 7 / 3	高岡市立国吉中学校	生徒	中学校1～3年生	126	出前講座	林業基礎知識を養う講座
31	21 / 7 / 3	上市町立相ノ木小学校	児童	小学校5年生	45	出前講座	森林の働き
32	21 / 7 / 9	高岡市立東五位小学校	児童	小学校5年生	32	出前講座 森林教室	森のはたらき 小枝のボールペン作り

平成21年度 森の寺子屋開催実績

開催回数	開催年月日 年 月 日	開催要請者	対象者			『森の寺子屋』の内容	
			区 分	学年等	人数	区 分	具体的内容
33	21 / 7 / 14	高岡市立国吉中学校	生徒	中学校1～3年生	126	森林教室	下草刈り活動の指導
34	21 / 7 / 17	砺波市立庄南小学校	児童	小学校5年生	38	森林教室	小枝のえんぴつ作りの指導
35	21 / 7 / 24	氷見市立湖南小学校	児童	小学校5年生	80	森林教室	竹を使った楽器作りの指導
36	21 / 7 / 25	日本労働組合連合会富山県連合会	一般		13	森林教室	木工細工、昆虫採取の指導
37	21 / 7 / 27	富山県農業協同組合中央会	児童	小学校5、6年生	19	出前講座 森林教室	とやまの森の姿、働き、地球温暖化と森林について 小枝のボールペン作りの指導
38	21 / 7 / 28	富山市立神通碧小学校	児童	小学校1～6年生	84	森林教室	樹木・野鳥観察の指導
39	21 / 7 / 28	社団法人とやま緑化推進機構	児童		69	森林教室	森の不思議〇×クイズ 木工教室
40	21 / 7 / 29				154		
41	21 / 7 / 30				85		
42	21 / 8 / 1	清水町2区児童クラブ	児童		13	森林教室	木工教室の指導
43	21 / 8 / 1	平花とみどりの少年団育成会	児童	小学校4～6年生	37	出前講座 森林教室	森のはたらきについて解説 植樹、木工教室の指導
44	21 / 8 / 6	魚津市立すずめ児童センター	児童	小学校1～3年生	28	出前講座 森林教室	森のはたらきについて解説 木の端材を使用した木工教室
45	21 / 8 / 18	社団法人とやま緑化推進機構	児童		112	出前講座 森林教室	とやまの森について解説 森林体験ゲームの指導
46	21 / 8 / 26	魚津市立かもめ児童センター	児童	小学校1～6年生	40	出前講座 森林教室	森のはたらきについて解説 木の端材を使用した木工教室
47	21 / 9 / 5	富山市立奥田北小学校第4学年PTA	児童	小学校4年生	74	出前講座 森林教室	森林、間伐に関する講義 小枝のボールペン作りの指導
48	21 / 9 / 27	入善町教育委員会	一般		10	森林教室	沢スギ間伐材を使用した箸、箸置等の作成指導
49	21 / 9 / 28	氷見市立十三中学校	生徒	中学校2年生	11	森林教室	絆の森整備の指導
50	21 / 9 / 29	氷見市立十三中学校	生徒	中学校2年生	11	森林教室	絆の森整備の指導
51	21 / 9 / 30	黒部市立田家小学校	児童	小学校4年生	39	森林教室	小枝のボールペン作りの指導
52	21 / 10 / 13	射水市立小杉小学校	児童	小学校4～6年生	28	出前講座 森林教室	森林の働きについて解説 小枝のボールペン作りの指導
53	21 / 10 / 21	魚津市つばめ児童センター	児童	小学校1～3年生	30	森林教室	箸づくりの指導
54	21 / 10 / 23	藤ノ木校下地域児童健全育成運営協議会	児童	小学校1,2年生	60	出前講座 森林教室	森についてのお話し 木の名札作りの指導
55	21 / 10 / 24	富山県	一般		250	森林教室	竹林整備、竹クラフトの指導
56	21 / 10 / 27	砺波市立庄東小学校	児童	庄東小学校6年生	33	森林教室	巣箱内観察の指導
57	21 / 10 / 28	氷見市立仏生寺小学校	児童	小学校5年生	13	森林教室	竹林伐採、階段整備の指導
58	21 / 11 / 6	射水市立片口小学校	児童	小学校6年生	58	出前講座 森林教室	とやまの森林の姿、働きについて解説 小枝のボールペン作りの指導
59	21 / 11 / 7	(社)富山県農林水産公社	一般		180	森林教室	広葉樹苗の植栽、竹クラフトの指導
60	21 / 11 / 10	高岡市立中田小学校	児童	小学校5年生	76	出前講座 森林教室	とやまの森林の姿、働きについて解説 小枝のボールペン作りの指導
61	21 / 11 / 12	高岡市立横田小学校	児童	小学校5年生	56	出前講座 森林教室	森林の姿等基礎知識について解説 小枝のボールペン作りの指導
62	21 / 11 / 14	山室中部土曜ふれあい活動運営委員会	児童	小学校1～6年生	35	出前講座 森林教室	森林と環境との関わりについて解説 木工教室の指導
63	21 / 11 / 17	氷見市立上庄小学校	児童	小学校6年生	22	出前講座 森林教室	富山の森を育む活動について解説 竹笛作りの指導
64	21 / 11 / 25	射水市立金山小学校	児童	小学校5年生	16	出前講座 森林教室	森林の働きについて解説 小枝のボールペン作りの指導
65	21 / 11 / 26	砺波市立庄東小学校	児童	小学校5年生	35	出前講座 森林教室	野鳥の生態と森に関して解説 巣箱作りの指導
66	21 / 11 / 28	北部児童館	児童		53	森林教室	リース作りの指導
67	21 / 12 / 2	砺波市立庄東小学校	児童	小学校4年生	41	森林教室	しいたけ植菌の指導

平成21年度 森の寺子屋開催実績

開催回数	開催年月日 年 月 日	開催要請者	対象者			『森の寺子屋』の内容	
			区 分	学年等	人数	区 分	具体的内容
68	21 / 12 / 8	立山町立利田小学校	児童	小学校1年生	74	森林教室	ドングリ等を使用したクラフトの指導
69	21 / 12 / 9	砺波市立庄東小学校	児童	小学校5年生	35	出前講座 森林教室	野鳥の生態と森に関して解説 巣箱取付の指導
70	21 / 12 / 12	中太閤山公民館	一般		27	出前講座 森林教室	竹林についての講義 ミニ門松作りの指導
71	21 / 12 / 19	戸破公民館	一般		28	出前講座 森林教室	森林の働き、大切さについての講義 ミニ門松作りの指導
72	22 / 1 / 19	小矢部市立津沢小学校	児童	小学校5年生 小学校4年生	44 46	出前講座 森林教室	森林の働きについて解説 竹笛つくりの指導
73	22 / 1 / 23	富山市立山室小学校PTA愛育会	児童	小学校1～6年生	32	出前講座 森林教室	森林のすがたについて解説 竹を使ったクラフトの指導
74	22 / 1 / 26	富山市立萩浦小学校	児童	小学校5年生	60	出前講座 森林教室	富山の森林の姿、働きについて解説 小枝のボールペン作りの指導
75	22 / 1 / 29	富山市立山室小学校	児童	小学校5年生	81	出前講座 森林教室	森林のはたらき、生活との関わりについて解説 木の名札作りの指導
76	22 / 2 / 4	富山市立針原小学校	児童	小学校5年生	62	出前講座 森林教室	森林のはたらきについて解説 小枝のボールペン作りの指導
77	22 / 2 / 4	富山市立堀川小学校	児童	小学校5年生	116	出前講座 森林教室	私たちの生活と森林について解説 間伐材を使った木工の指導
78	22 / 2 / 5	黒部市立若栗小学校	児童	小学校5年生	31	出前講座 森林教室	地球温暖化と森林について解説 小枝のボールペン、竹とんぼ作りの指導
79	22 / 2 / 9	富山市立上滝小学校	児童	小学校5年生	42	出前講座 森林教室	林業について解説 小枝のボールペン、竹笛作りの指導
80	22 / 2 / 12	富山市立神保小学校	児童	小学校5年生	67	森林教室	小枝のボールペン・竹笛作りの指導
81	22 / 2 / 17	上市町立宮川小学校	児童	小学校5年生	39	出前講座 森林教室	森林のはたらきや守り育てる人々について解説 小枝のボールペン、木の名札作りの指導
82	22 / 2 / 18	射水市立中太閤山小学校	児童	小学校5年生	81	出前講座 森林教室	森林のはたらきについて解説 小枝のボールペン作りの指導
83	22 / 2 / 25	高岡市立平米小学校	児童	小学校5年生	22	出前講座 森林教室	とやまの森や世界の森について解説 しいたけ植菌の指導
84	22 / 3 / 8	高岡市立木津学校	児童	小学校5年生	66	出前講座 森林教室	校庭の樹木解説 小枝のボールペン作りの指導
85	22 / 3 / 11	黒部市立宇奈月小学校	児童	小学校5年生	50	出前講座	間伐について解説
					5,331		

(参考) 実績取りまとめ

年度	開催回数	一般参加人数
19	46	2,847
20	91	6,175
21	85	5,331

『森の寺子屋』開催状況



開催日	平成21年5月4日
開催場所	砺波市 県民公園「頼成の森」
開催内容	一般県民を対象に、クイズを通しての森林の働きを解説



開催日	平成21年5月25日
開催場所	富山大学人間発達科学部附属小学校
開催内容	小学5年生を対象に、間伐材利用の必要性を解説、間伐材箸づくりの指導を実施



開催日	平成21年7月3日
開催場所	高岡市立国吉中学校
開催内容	全校生徒を対象に、林業の基礎知識を解説



開催日	平成21年9月28日
開催場所	氷見市飯久保山
開催内容	中学2年生を対象に、里山林整備の指導を実施



開催日	平成22年1月29日
開催場所	富山市立山室小学校
開催内容	小学5年生を対象に、森林の働きを解説、木の名札づくりの指導を実施



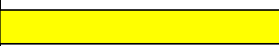


開催日	平成22年2月5日
開催場所	黒部市立若栗小学校
開催内容	小学5年生を対象に、地球温暖化と森林について解説、木工教室の指導を実施

『森の寺子屋』に関するアンケート結果（小中学校）



1. アンケート調査回答数 49回
 （小学校43校：48回、中学校1校：1回）

2. アンケート結果

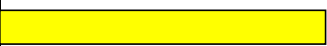



設問1 『森の寺子屋』の開催を通じて、実施前と比べ児童・生徒が森林にどの程度の関心を持ったと考えますか？

回答	項目		回答数	グラフ
	1	大変関心を持った	20	 40.8%
2	ある程度関心を持った	28	 57.1%	
3	実施前とかわらない	1	 2.1%	

設問2 今回実施した『森の寺子屋』の内容等について、どう思われますか？

回答	項目		回答数	グラフ
	1	良かった	40	 81.6%
2	ふつう	9	 18.4%	
3	良くなかった	0		

設問3 今後も『森の寺子屋』の開催を要望しますか？

回答	項目		回答数	グラフ
	1	要望する	23	 46.9%
2	授業時間などを検討したうえで、余裕があれば要望する	23	 46.9%	
3	要望しない	2	 4.1%	
4	その他（学年によって）	1	 2.1%	

とやまの森づくり普及啓発推進事業

(2)フォレストリーダースキルアップ研修実績

1. 研修実施回数 2回

2. 研修実施内容

月日	内容	講師等
平成22年 2月28日	講義「森林環境教育における児童の心をつかむ話術」	自然教育プログラム研究家 米村 博実
	演習「出前講座優秀事例発表」	フォレストリーダー
平成22年 3月13日	実習「とやまの竹利用アイデアコンテスト」優秀作品の作成指導	椋島 直記

3. 実施状況写真



第1回研修 講義(米村 博実)



第2回研修 実習

Ⅶ 県産材利用促進事業

○趣 旨

とやまの森づくりにつながる県産材利用への県民の理解を深めるため、県産材を使った木製品の設置や公共施設等の木質化を進めます。

○平成21年度事業の実績

(1) 県産材くつろ木事業

- ・県産スギで製作したベンチを公共施設等に設置しました。
公共施設 66基(65箇所) ・公共交通機関 14基(7箇所)
- ・企業協賛による県産材ベンチを1施設に5基設置しました。

(2) とやま木育推進事業 《H21新規》

- ・「木育」推進のために県産材遊具のデザインを募集し、そのデザインを基に試作品を製作しました。また、児童福祉施設等でモニター調査を実施しました。
応募アイデア数 133作品 うち 優秀賞 5作品を選定・試作

(3) 県産材こどもの城づくり事業

- ・園児のデザインによる木製遊具を親子の協力により製作・設置するとともに、親子による森の見学会を開催しました。
実施施設数 2施設(藤ノ木幼稚園、双葉保育園)

(4) 森に親しむ学び舎づくり事業

- ・小・中学校の学童・生徒用机天板を県産材天板に置換えました。
実施学校数 23校(魚津市 1小学校、高岡市 14小学校・8中学校)
- ・特別支援学校用机・椅子について開発しました。 《H21新規・アイデア提案》

(5) 木の香るまちづくり事業

- ・公共施設等の内装の木質化に支援をしました。

実施施設数 12施設

【富山市】 なごなるの家 鶴坂保育園所 どんぐり山共同保育園 富山YMCA
福祉の里ふくふく

【高岡市】 高岡里山交流センター

【滑川市】 デイサービスほがらか 同朋幼稚園 デイサービスほたるの里

【黒部市】 宇奈月地区交流センター 村椿コミュニティセンター 道の駅「うなづき」農産物特売所



とやま木育推進事業
(富山市 あさひ幼稚園)



木の香るまちづくり事業
(高岡市 里山交流センター)

県産材利用促進事業（平成 21 年度実績）

1 事業の実施と利用状況（平成 22 年 6 月現在）

（1）県産材くつろ木事業

①公共施設、公共交通機関に県産スギで製作したベンチを設置

- ・ベンチ設置数
公共施設、公共交通機関 72 施設 80 基
- ・設置時期 11 月～2月

②企業協賛ベンチの設置

- ・協賛企業数 5 企業
- ・協賛ベンチ設置数 1 施設 5 基



（2）とやま木育推進事業

「木育」推進のために県産材遊具のデザインを募集し試作品を製作

- ・応募アイデア数 133 作品
(上記のうち優秀賞 5 作品を試作)
- ・実施時期 6～3月

試作品については、県内児童福祉施設やイベント会場でモニター調査を実施



（3）県産材こどもの城づくり事業

園児デザインによる木製遊具（こどもの城）を親子の協力により製作・設置

- ・応募施設 15 施設
- ・実施施設 2 施設
藤ノ木幼稚園（富山市）
双葉保育所（高岡市）
- ・実施期間 5月～11 月

子どもの城に使われる県産材が地元でどのように育てられているかを体験する事で、親子が森や木に対しての意識を醸成することを目的とした、「森の見学会」を8月に開催



21 県産材利用促進事業（部会資料）

（４）森に親しむ学び舎づくり事業

①小・中学生用机を県産材天板に置き換える ことに対して支援

- ・ 応募学校 2市町 23校
- ・ 実施学校 23校 262枚
大町小学校（魚津市）
下関小学校など14小学校（高岡市）
戸出中学校など8中学校（高岡市）
- ・ 設置時期 12～3月



②県産材を使用した特別支援学校用机・椅子 を開発

- ・ 実態調査 県内7校、県外2校
こまどり養護、しらとり養護、富山養護、
となみ養護、高志養護、にいかわ養護、
県立盲学校（県内）
長野県稲荷山養護、東京都婦中特別支援
学校（県外）
- ・ 設計・試作 机2タイプ、椅子1タイプ
- ・ 委託先 富山大学芸術文化学部
- ・ 実施期間 5～3月



（５）木の香るまちづくり事業

県内の公共施設等に対して、県産材を使用 した内装の木質化に対して支援

- ・ 応募施設 14施設
- ・ 実施施設 12施設

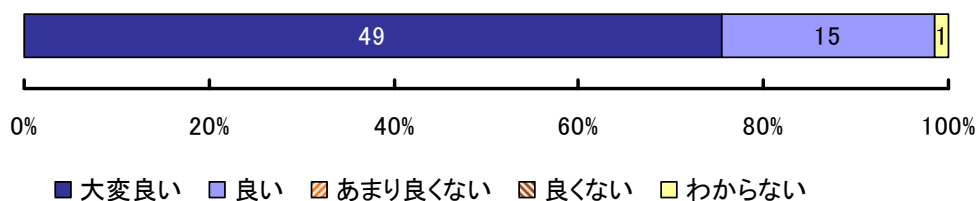
なごなるの家、鶉坂保育園、どんぐり山共同保育園、富山YMCA、福祉の里ふくふく（富山市）
高岡里山交流センター（高岡市）
デイサービスほがらか、同朋幼稚園、デイサービスほたるの里（滑川市）
宇奈月地区交流センター、村椿コミュニティセンター、道の駅「うなづき」農産物直売所（黒部市）



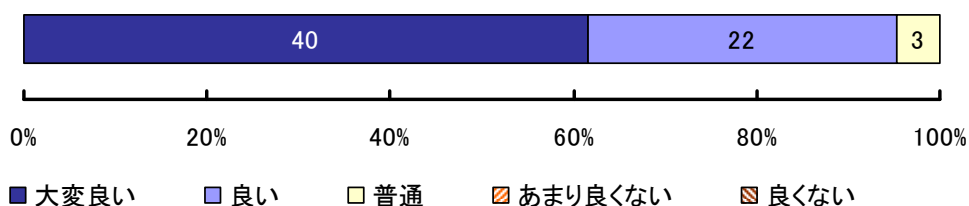
県産材くつろ木事業（県産材ベンチ設置）に対するアンケート結果

設置施設職員（合計 65 人）による回答

1 県産材を使ったベンチを公共施設等に設置したことについて、どう思いますか。



2 あなたから見た県産材ベンチに対する印象はどうですか。



3 ベンチ利用されている方々の様子はどう感じられますか。（主なものを記載、[] 内は回答割合）

- ・休み時間で休憩したり、読書したり思い思いの時間を過ごしている。[20%]
- ・珍しい造りなので注目されており、試しに座る人も多い。[18%]
- ・ベンチの座り心地を楽しんでいる様子である。[17%]
- ・腰掛けて楽しそうに会話をしている姿を良く見かける。[17%]
- ・送迎等の待ち時間で利用する人が多い。[14%]

4 スチール製などのベンチと比べて、今回設置した県産材ベンチの良い点と悪いと思われる点を記載してください。（主なものを記載、[] 内は回答割合）

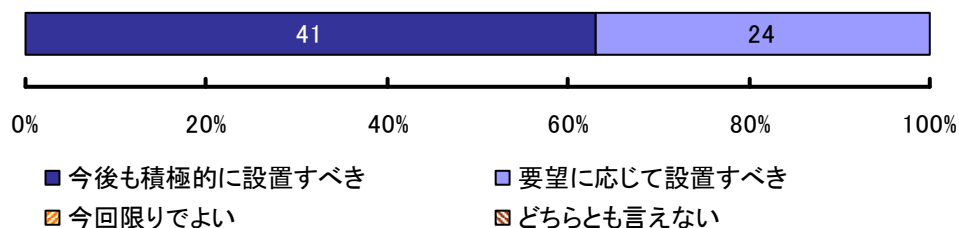
（良い点）

- ・木の温かみがある [78%]
- ・見た目の優しい感じがある [25%]
- ・設置施設の景観に合っている [15%]
- ・独特の柔らかさがある [9%]
- ・重量感が良い [8%]
- ・木のよい香りがする [5%]

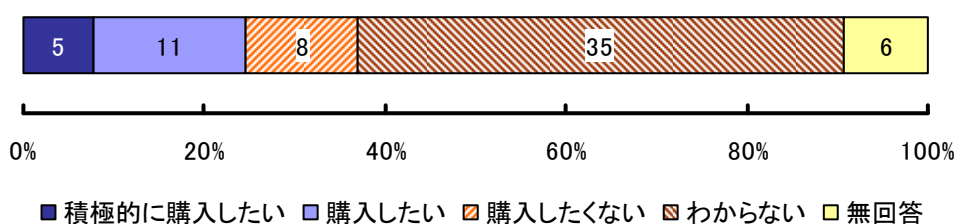
（悪い点）

- ・屋外で使用できない [42%]
- ・重いので移動が不便 [31%]
- ・高価そうである [11%]
- ・汚れが取れにくい [5%]

5 県民の方々に県産材をPRする目的で、公共施設や公共交通機関にこのような県産材製品を設置することについてどう思いますか。



6 今回設置した県産材ベンチを個人的に購入してみたいと思われましたか。



いくらなら購入しても良いですか？（購入したいと答えた人の回答）

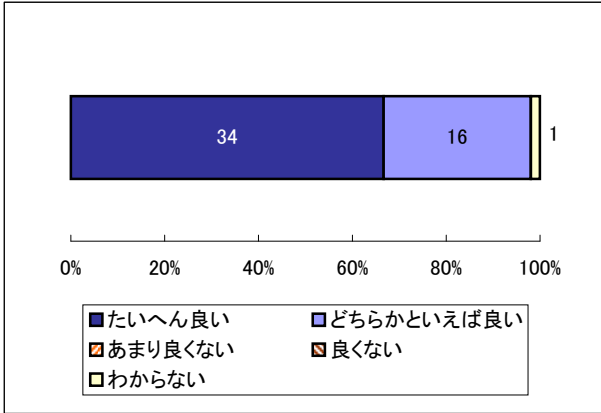
18,100 円（平均） 2,000 円（最低） 50,000 円（最高）

7 県産材の利活用に対するご意見があれば記載して下さい。（主なものを記載）

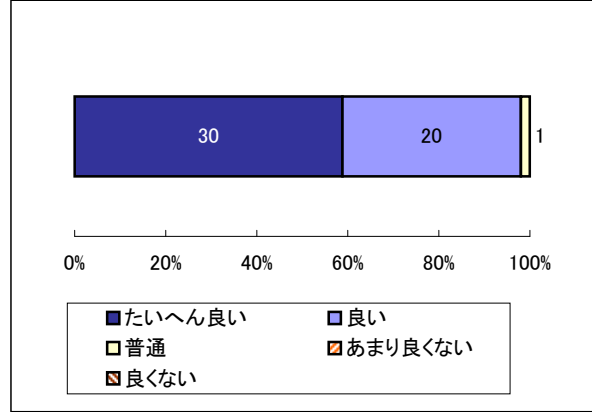
- ・ベンチ以外にも多方面の活用を検討すると良い。
- ・今後も実生活に利用できる便利な製品を作って欲しい。
- ・学校や各種施設に県産材製品を設置していけば、大いに利用されるし良いPRになると思う。
- ・ベンチ以外にも椅子、テーブル等色々なものを設置してほしい。
- ・より一層のPRをするとともに、必要とされる製品を調べ、それを開発することが重要。
- ・木材及びコンクリートの長所を活かし、短所を補い、上手く組合わせて建物で利用することを望む。
- ・産地や樹種の情報を木製品に付けて、ユーザーに意識させることが必要。

平成21年度 とやま木育推進事業 アンケート集計(対象者:遊具利用関係者)

Q1 「とやまの木を使った遊具」が保育園・幼稚園にあることをどう思いますか。



Q2 あなたから見た「とやまの木を使った遊具」に対する印象はどうですか？



主な感想

- ・自然の持つ温かさ・肌触り・においが子供に良い影響がある
- ・安心感がある
- ・シンプルだけど遊び方が無限にあり暖かみがある
- ・木の遊具で遊ぶ機会が少ないので楽しめた

Q3 遊具を使っている子供たちの様子はどうですか？

- ・楽しく遊んでいた
- ・数が少ないのに貸し借りして仲良く遊んでいた
- ・遊具の遊び方を子供自身が考えていた
- ・木の遊具とふれあう機会がなく大喜びでした。
- ・見たことのない遊具に興味津々だった
- ・生き生きとしていた

Q4 今回試作したそれぞれの遊具について、良いと思われる点と悪いと思われる点を記載してください。

(良い点)

モリリズム

楽器を楽しめた
視覚的に楽しめる

森の雰囲気がいよ
淡い色 安全な塗料

音色がすばらしい
かわいい

形が楽しい
楽器の多さ

なんじゃらホイ

畑の疑似体験ができる
抜く楽しさ・入れる楽しさ
ワクワク感がある

かわいい
いろいろな遊び方ができる
考えながら遊べる

年齢に応じた遊び方ができる
何が出るか分からないのがいい

二人乗り自転車

みんなで遊べる
動きが楽しい

友達との一体感がある

最高10人で乗れる

子供が押せる大きさ

たまゆら木

バランス感覚を養える
不安定なのがよい
座ったり抱え込んで木のぬくもりが味わえる

いろいろな遊びが広がる
すべすべ感がいい

手触りがよい
シンプルでよい

園児が交代して仲良く遊べる

木のトンネル

秘密基地の雰囲気がよい
木本来の素材

子供の好奇心を養う
重厚感が良い

遊び方が多様
五感を呼び覚ます最高の遊具
登れるところがよい

(悪い点)

モリリズム

木琴のバチが危ない 使い方が分からない	楽器がバラバラになる 笛が不衛生	壊れそう 無くなるおそれがある	遊び方が伝わりにくい アクセントに金属音のものが欲しい
------------------------	---------------------	--------------------	--------------------------------

なんじゃらホイ

逆さに入ると取れない あきやすい	野菜の種類が少ない 葉っぱが取れやすい	穴の大きさもいろいろあればいい モグラは食物をかじらないことは誤解を招く
---------------------	------------------------	---

二人乗り自転車

つかまる場所がない 押している子が前のめりになりぶつかりそう	タイヤのところに手が挟まる	押されるとぶつかる	スピードが出すぎる
-----------------------------------	---------------	-----------	-----------

たまゆら木

遊び方が分からない 落ちたりしてケガをしそう	子供が動かすには重すぎる 足を挟みそう	床が傷つく	手を挟む
---------------------------	------------------------	-------	------

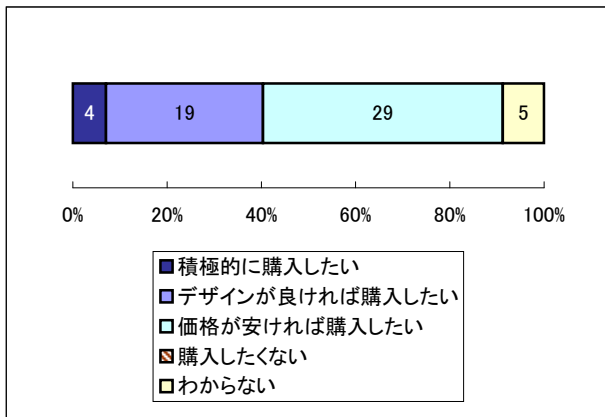
木のトンネル

中が見えない 窓が欲しい 上から落ちそう	上に登ると危険 下の台の角が危ない 移動が大変	下にマット等を敷く必要 物足りないのでおもしろい仕掛けが欲しい 抜け穴 動物をまねるような工夫が欲しい
----------------------------	-------------------------------	---

Q5 子供たちやその家族に木の良さに触れてもらうために、保育園や幼稚園にあったらよいと考えられる木材製品は何ですか。

ままごとセット	パズル	ベンチ	楽器
バランスゲーム	積木	食器	机・椅子
手押し車	ブランコ	本棚	鳥小屋

Q6 県産材製品(机、椅子、ベンチ、本棚など)を個人的に購入したいと思いますか。

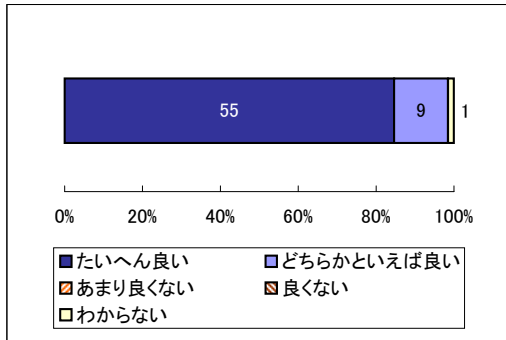


Q7 県産材の利活用に対するご意見があれば記載して下さい。

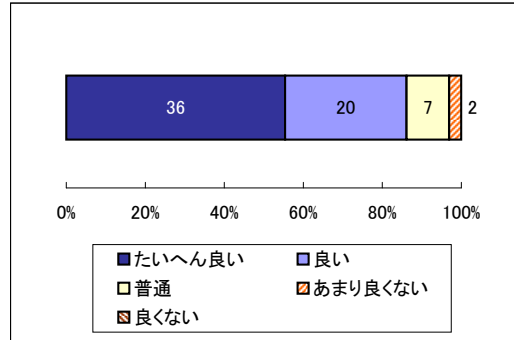
- ・木製品をどんどん増やして欲しい。木工教室の開催を希望する。
- ・公民館等に遊具があったらよいのでは。
- ・県産材がなぜ良いかというアピールが必要ではないか？
- ・県産材の遊具をもっと考えて欲しい
- ・PRする機会をもっと増やすべき

平成21年度 県産材こどもの城づくり事業 アンケート集計(保護者)

Q.1 県産材を使った「こどもの城」を保育園・幼稚園などに設置することについて、どう思いますか。



Q.2 あなたから見た「こどもの城」に対する印象はどうですか。



主な意見

- ・製作過程が見られて良かった
- ・夢があつて良いと思う
- ・自分たちでペンキを塗ったりして製作に関われたのが良い思い出になった。
- ・子供達に絵を描かせてそれを踏まえて設計していただき大変良かった。
- ・自分たちで作上げた宝物のようです。

Q.3 使っている子供たちの様子はどうですか。

- ・生き生きとしていた。
- ・隠れ家的な部分が楽しそう
- ・少し怖そう
- ・登ったり降りたりするのが楽しそう
- ・自分が作った部分に特に愛着を感じて遊んでいます。

Q.4 遊具に県産材を使用することについて、良いと思われる点と悪いと思われる点を記載してください。

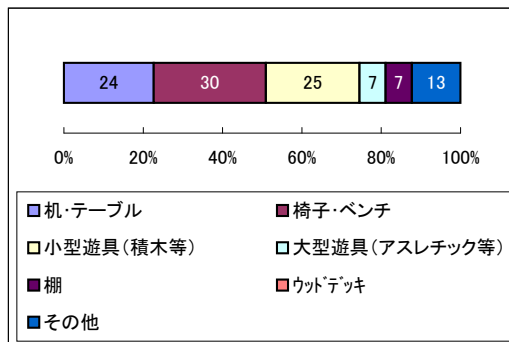
(良い点)

- ・地産地消なところがよい
- ・とやまの木を通じて富山に愛着をもてる
- ・木を大切に思う心が育った
- ・環境面でよい
- ・間伐材の有効利用

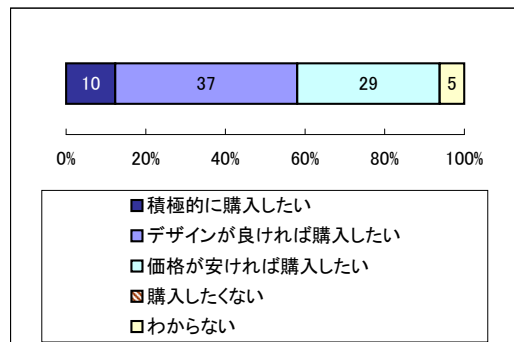
(悪い点)

- ・メンテナンスが大変そう
- ・他県産材とどう違うのかが実感できない。
- ・とげが刺さる 塗装がはげる
- ・割高感がある

Q.5 子供たちやその家族に木の良さに触れてもらうために、保育園や幼稚園にあつたらよいと考えられる木材製品は何ですか。



Q.6 県産材製品(机、椅子、ベンチ、本棚など)を個人的に購入したいと思いますか。



Q.7 今回、「こどもの城」の導入と併せて開催した、森の見学会の感想をお書きください。

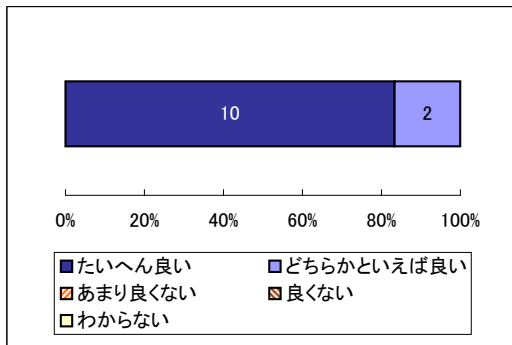
- ・普段出来ないことを親子で体験できて良かった。
- ・とても良いイベントだった。
- ・木の話がいろいろ聞けて良かったが、難しかった。
- ・見学の後にも森を見て良い森と悪い森についての会話が増えました。
- ・身近な森のことが今まで何も知らなかったことに気づいた。
- ・親子で触れ合いながら学習でき大切な時間を過ごせたのが良かった。

Q.8 県産材の利活用に対するご意見があれば記載して下さい。

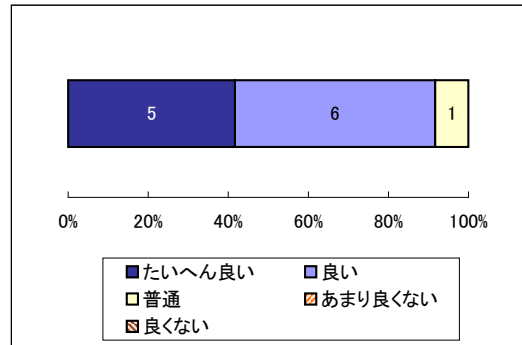
- ・木の良さをもっとアピールできる機会があつたら良いと思いました。
- ・県内に県産材の遊具や公共施設があるかを知りたい。
- ・いろいろと県産材を知るきっかけを作って欲しい。
- ・県産材を購入できる店を広げて欲しい。

平成21年度 県産材こどもの城づくり事業 アンケート集計(施設職員)

Q.1 県産材を使った「こどもの城」を保育園・幼稚園などに設置することについて、どう思いますか。



Q.2 あなたから見た「こどもの城」に対する印象はどうですか。



主な意見

- ・自分たちで作った達成感を味わえた。
- ・子ども達の夢が叶うという意味でとてもよい
- ・親子で触れあいながら普段経験の出来ないことが出来てはよかった。
- ・夢の家ができあがる過程がわかり良かった
- ・木材を使った手作り遊具は興味ある活動でした。
- ・良い機会を与えていただきました。

Q.3 使っている子供たちの様子はどうですか。

- ・城という名前が興味を引き笑顔いっぱい遊んでいます。
- ・自分たちの力で遊具を作ったという意識から使い方の約束事を守りながら遊んでいる。
- ・時々危険なこともあるが、楽しんでいる
- ・僕がこの絵を描いたんだとうれしそうに遊んでいます。

Q.4 遊具に県産材を使用することについて、良いと思われる点と悪いと思われる点を記載してください。

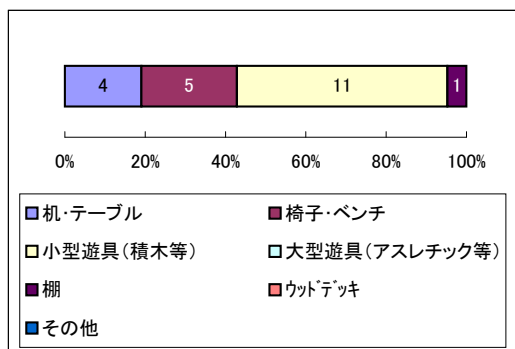
(良い点)

- ・親しみがある。木の特徴について気づく機会となる。
- ・木の温もり
- ・富山県に愛着をもてる
- ・自然に触れることが出来る
- ・とやまの木について知り、木に触れあいながら作れたのがとても良い

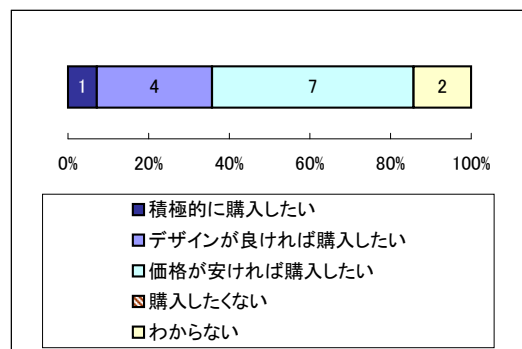
(悪い点)

- ・老朽化
- ・メンテナンスが大変そう
- ・少し危険箇所もある

Q.5 子供たちやその家族に木の良さに触れてもらうために、保育園や幼稚園にあつたらよいと考えられる木材製品は何ですか。



Q.6 県産材製品(机、椅子、ベンチ、本棚など)を個人的に購入したいと思いませんか。



Q.7 今回、「こどもの城」の導入と併せて開催した、森の見学会の感想をお書きください。

- ・保護者と子ども達が一緒に楽しめる活動でよかった。
- ・自然とふれあえる機会はよかったが、少し時間が長かった。
- ・森でのクイズで自然に興味をもてた。

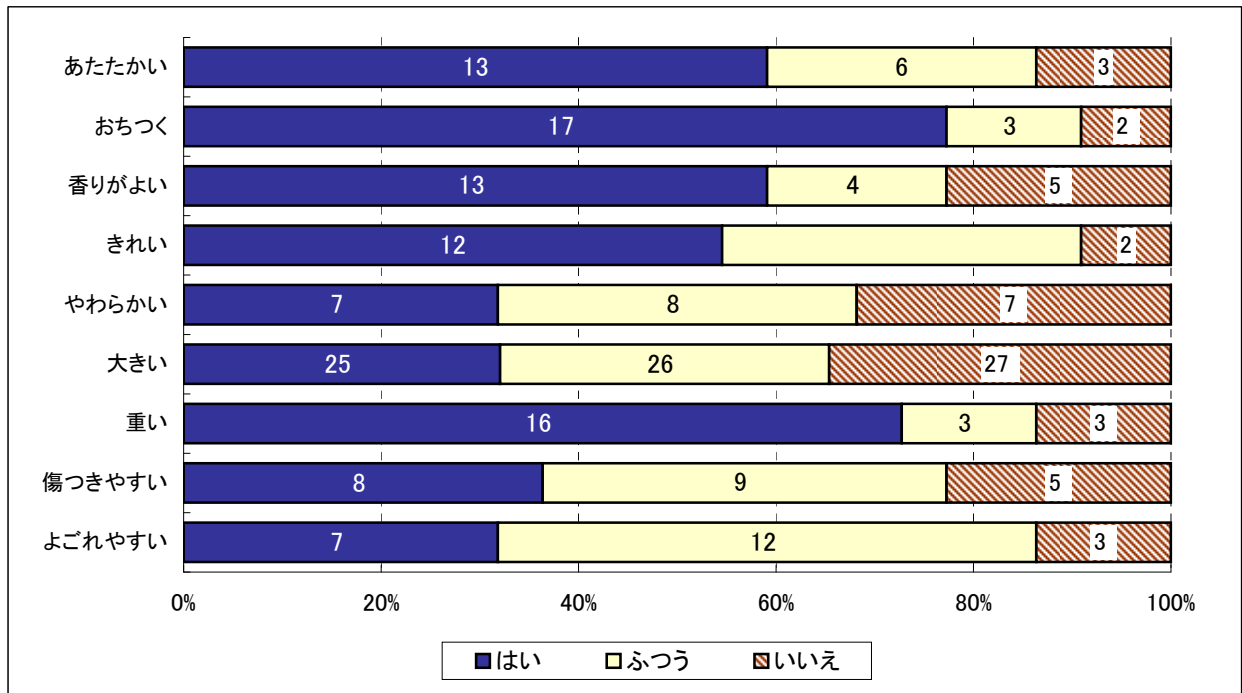
Q.8 県産材の利活用に対するご意見があれば記載して下さい。

- ・木材を使ってもそれが県産材だと言うことが分からないのが残念。
- ・県産材の製品・玩具等の情報量が少ない

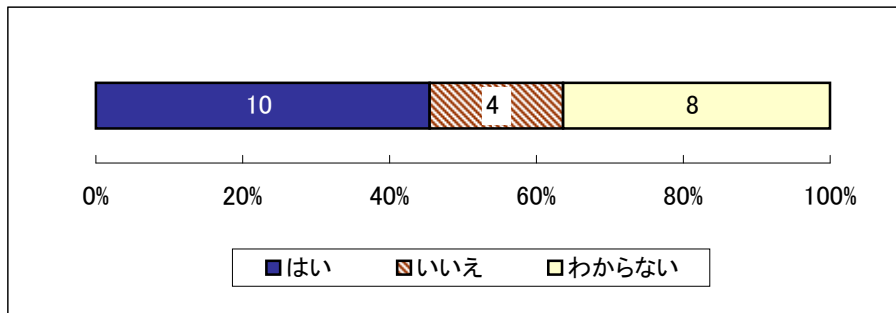
(4) 森に親しむ学び舎づくり事業(県産材製天板導入補助事業) アンケート集計(小学校児童用)

回答数	魚津市大町小学校	22
-----	----------	----

1. 天板に対する印象



2. 木に対する興味



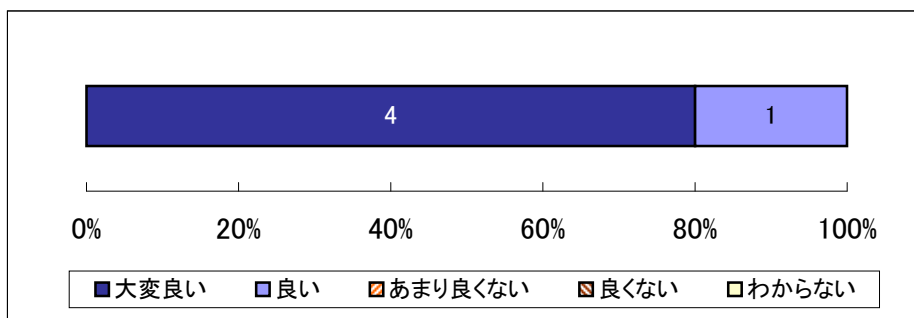
主な自由意見

- ・机が大きいし、広々としているところがよい。
- ・この机をもらって落ち着いて怒ったときも椅子に座れば落ち着いて怒ったのも忘れるからうれしいです。
- ・とても硬くて綺麗でとても香りがよくて傷が付きにくくてよかった。
- ・とてもきれいで、すぐく落ち着きます。
- ・傷が汚いのでやだ。
- ・あまり汚れてほしくなかったの、大事に使っていると、とっても落ち着くし、とてもうれしくなります。
- ・間があいて字を書くときちょっと書きにくかったです。
- ・重くて疲れやすかった。
- ・この木の机はあたたかいからよかったです。でも木に隙間があって字が書きにくいので落ち着きません。
- ・使いやすくなった。使って楽しい気分になってくる。物が落ちにくくなった。

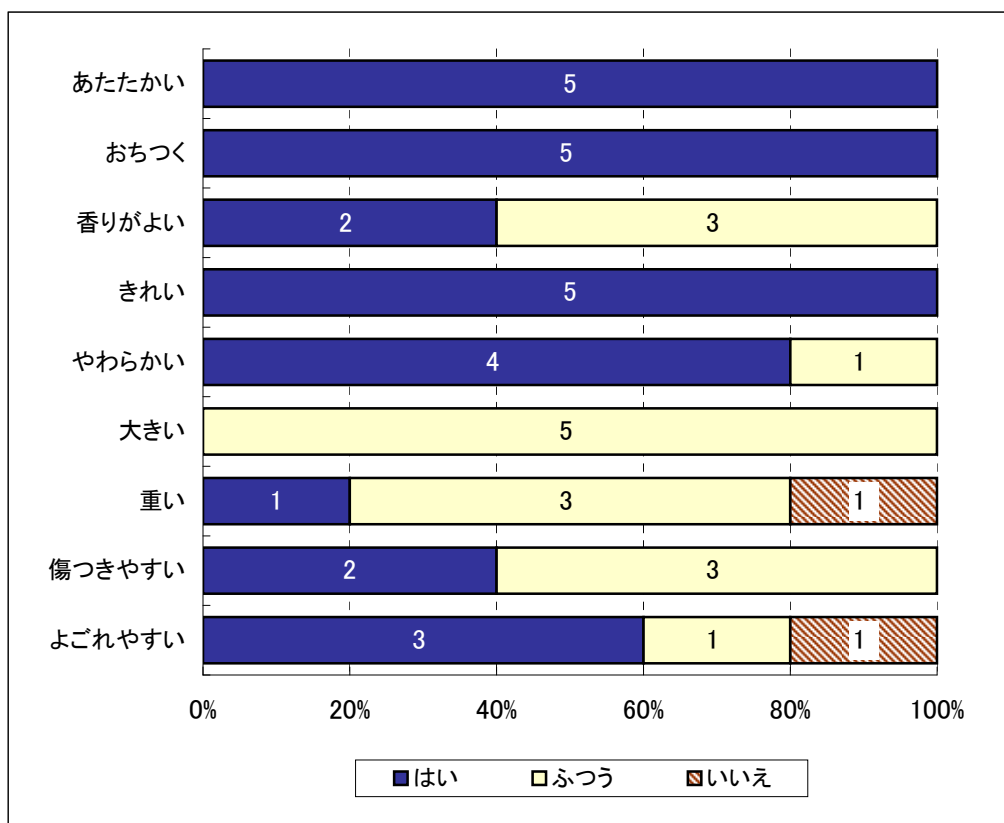
(4) 森に親しむ学び舎づくり事業(県産材製天板導入補助事業) アンケート集計(小学校教職員用)

回答数	魚津市大町小学校	5
-----	----------	---

1. 天板導入に対する感想



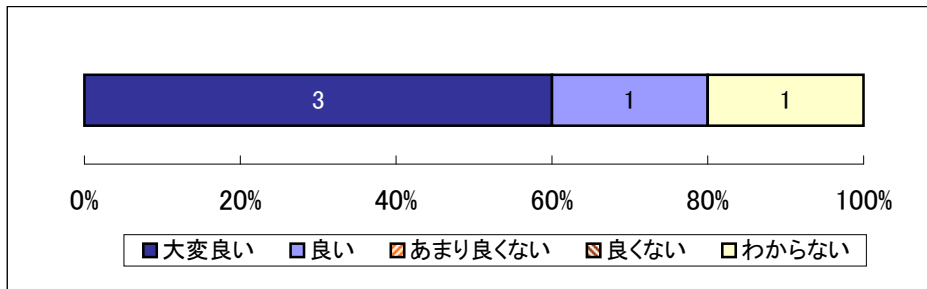
2. 天板に対する印象



主な自由意見

- ・色合いがよく落ち着きます。光沢もあり大切にしようとするきもちがわいてきているようです。
- ・しばらくすると、亀裂が入った点板が見られた

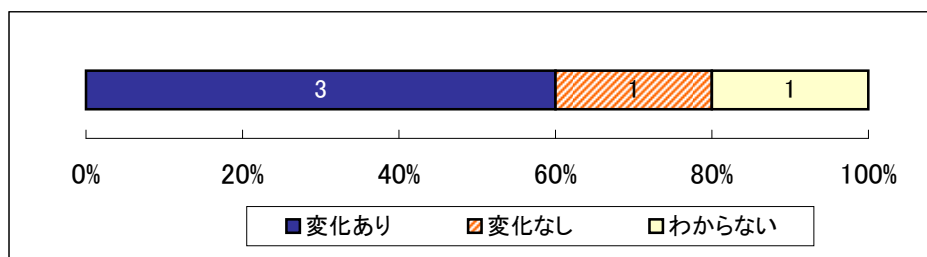
3. 子供たちの印象



主な自由意見

- ・新しい天板でとても喜んでいました。傷がつかないように大切に使おうとしています。
- ・色合いもよく落ち着いた感じがします。

4. 子供たちの変化

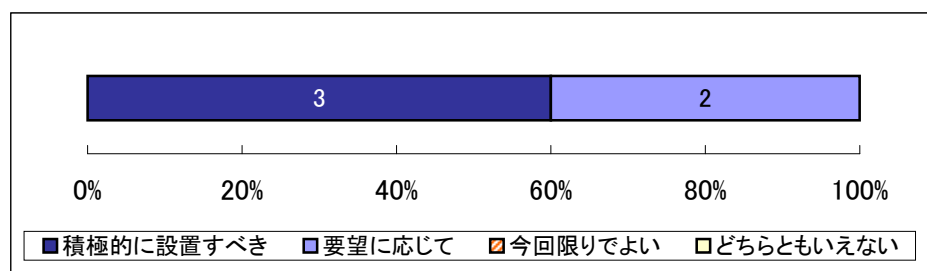


5. 具体的な変化の内容

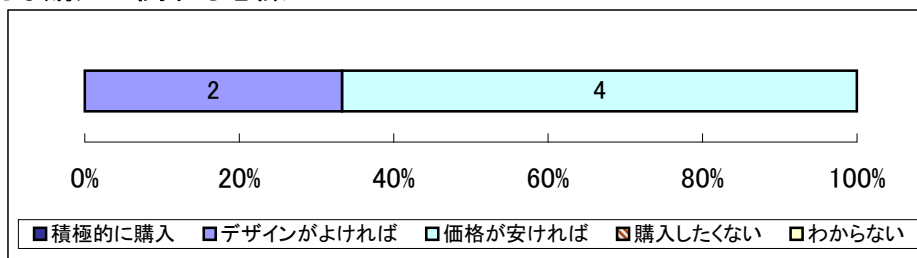
主な自由意見

- ・6年間、自分の机として大切に使いたいという気持ちがある。自分の机を大切にするようになった。
- ・汚さないように気をつけている子がいます。汚れたら台ふきんで拭くなど進んでする子がいます。

6. 今後の設置について



7. 個人的な購入に関する意識



8. 県産材の利活用に関する自由意見

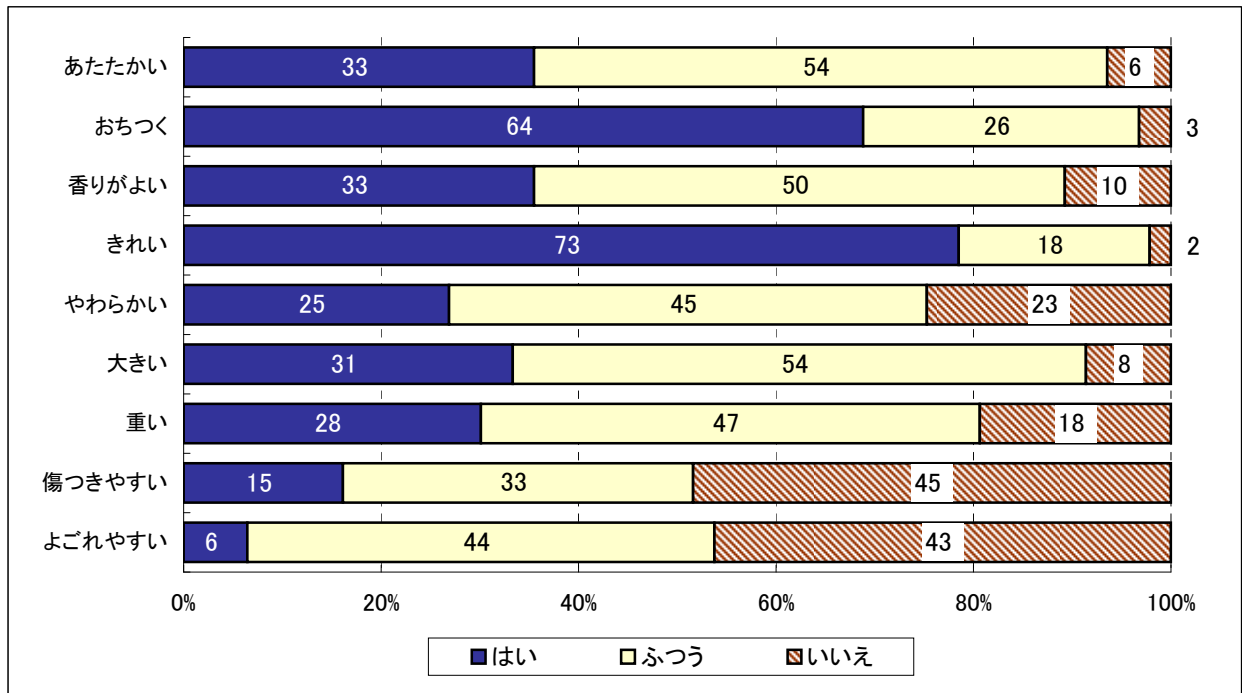
主な自由意見

- ・地元の産業に対する理解が深まる意味においても、このような事業は積極的に進めていくとよい。
- ・子供たちにとって好評だし良いことなので、継続して実施して欲しい。積極的に実施してほしい。

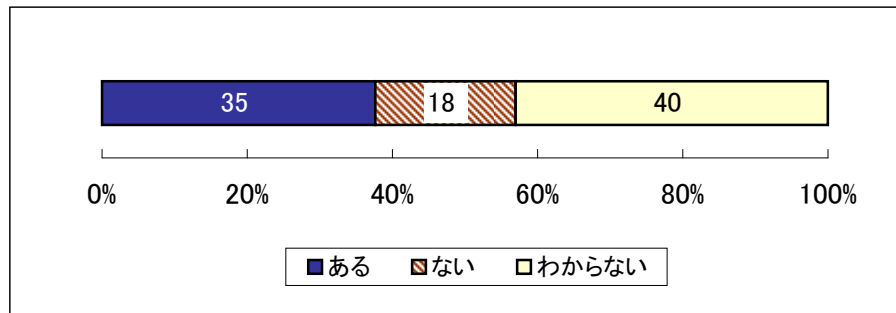
(4) 森に親しむ学び舎づくり事業(県産材製天板導入補助事業) アンケート集計(小学校児童用)

回答数	高岡市内14小学校	93
-----	-----------	----

1. 天板に対する印象



2. 木に対する興味



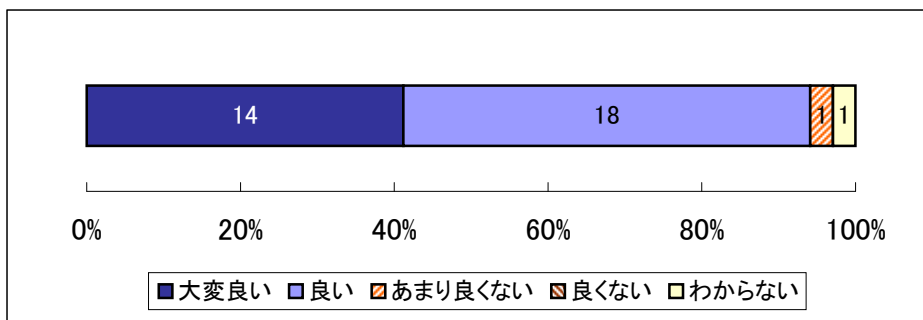
主な自由意見

- ・自然の感じがして心が気持ちよくなる。
- ・よごれにくいしきずもなかなかつくことがないからよかった。つるつるしている。木のつくえでもとげがささなくていい。
- ・ガタガタじゃないからつかいやすいけど、たまに木のはりがでていやなときもある。
- ・前の鉄の机よりきずがつかないし、よごれにくい。木の机だと落ち着く。木のおいがしていい。
- ・木のことを考えることができたのでよかったです。自然の感じがして心が気持ちよくなる。
- ・よごれないし、つかいやすいし、きれいだから勉強が進んできた。勉強が楽しかった。気持ちがおちつく気がする。
- ・とてもきれいで勉強に集中できる。よごれや傷がつきにくくてとても落ち着く。県産材を使った机をもっとふやしてほしいです。
- ・水ぶきをしたらへんなにおいがする。表面の手ざわりがいい自然という感じがする。
- ・日本という感じがする。木の方が軽い。木目とかがちがうからいい。

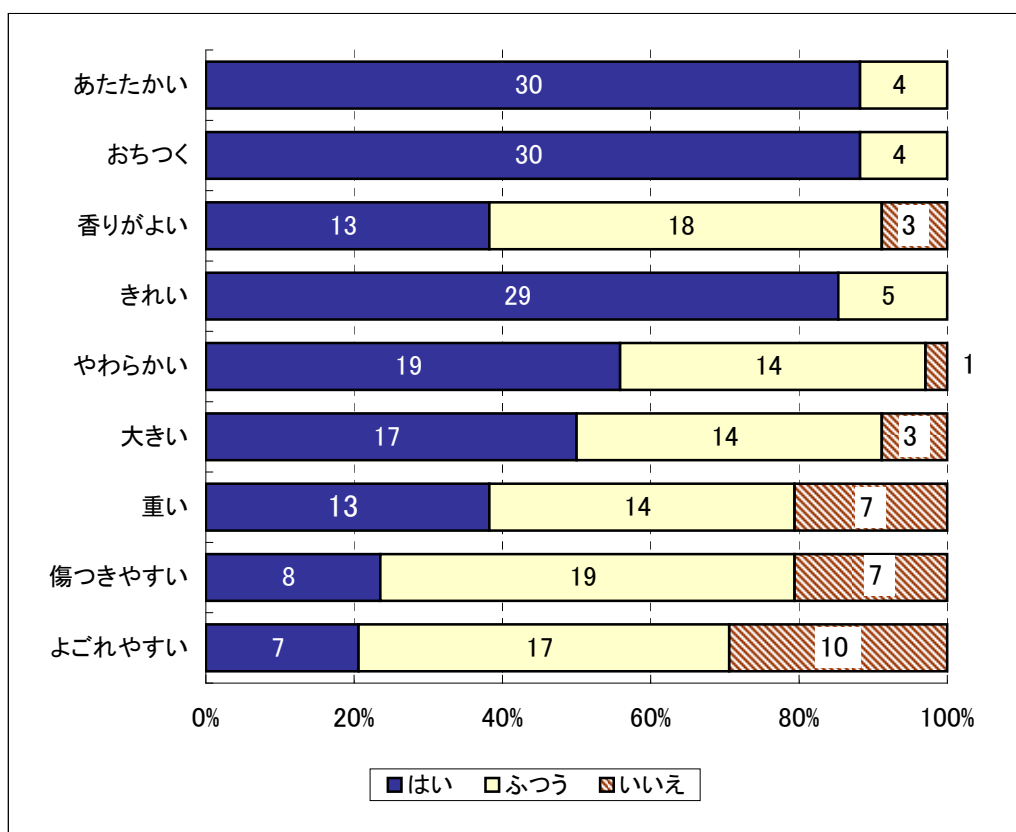
(4) 森に親しむ学び舎づくり事業(県産材製天板導入補助事業) アンケート集計(小学校教職員用)

回答数	高岡市内14小学校	34
-----	-----------	----

1. 天板導入に対する感想



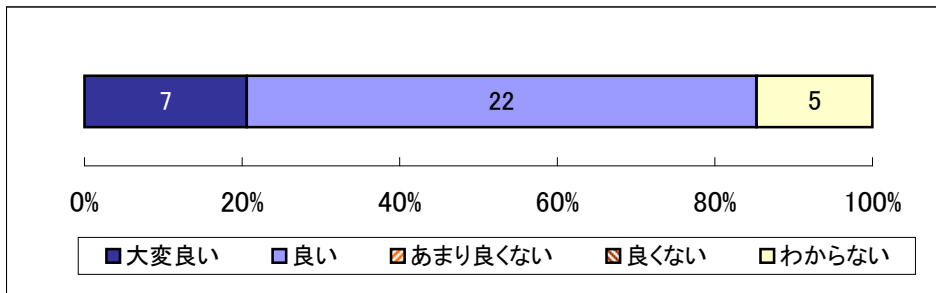
2. 天板に対する印象



主な自由意見

- ・森林資源を生かすため導入はとてもよい。落ち着く感じがします。木目が優しく温かさを感じます。
- ・下角面は丸みが少ない方がよい。持って移動しにくい。天板に指が掛かりにくい。
- ・上面は傷つきやすいのでメラニン樹脂の様な硬い塗装等にしてほしい。色はもう少し明るく(白っぽく)ならないでしょうか。
- ・大きな天板なのでゆとりのある学習ができ、たいへんよいと思う。
- ・直接紙に字を書くときひっかかって書きにくいので下じきが必要です。
- ・つくりが重厚で最近安物感が強い新しいタイプの児童机と比べてとても高級感がある。
- ・県産材のもつ温もりや木の香りは落ち着いた学習態度につながりそうでたいへん良いと思います。

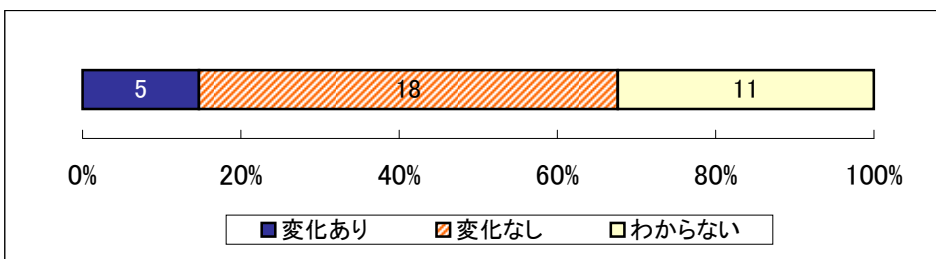
3. 子供たちの印象



主な自由意見

- ・親しみを感じている。ていねいに使う様子が見られる。
- ・落ち着いた色で学習中落書きしにくい。

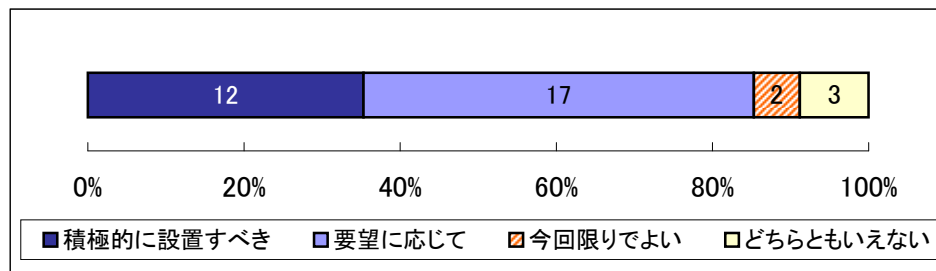
4. 子供たちの変化



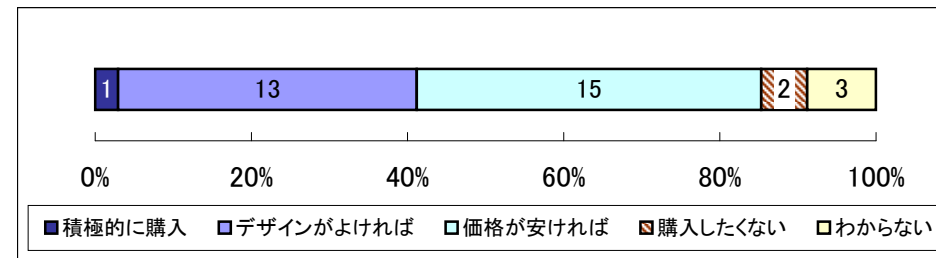
5. 具体的な変化の内容

- ・うれしそうな笑顔が見られたが、県産の天板を導入したからではなく、単に新しいものを使えるという喜びではないか。
- ・落書きが減り通常の日でも机をふくなど物を大切にしようとする態度が見られた。
- ・机を大切にしようとする子供が増えた。

6. 今後の設置について



7. 個人的な購入に関する意識



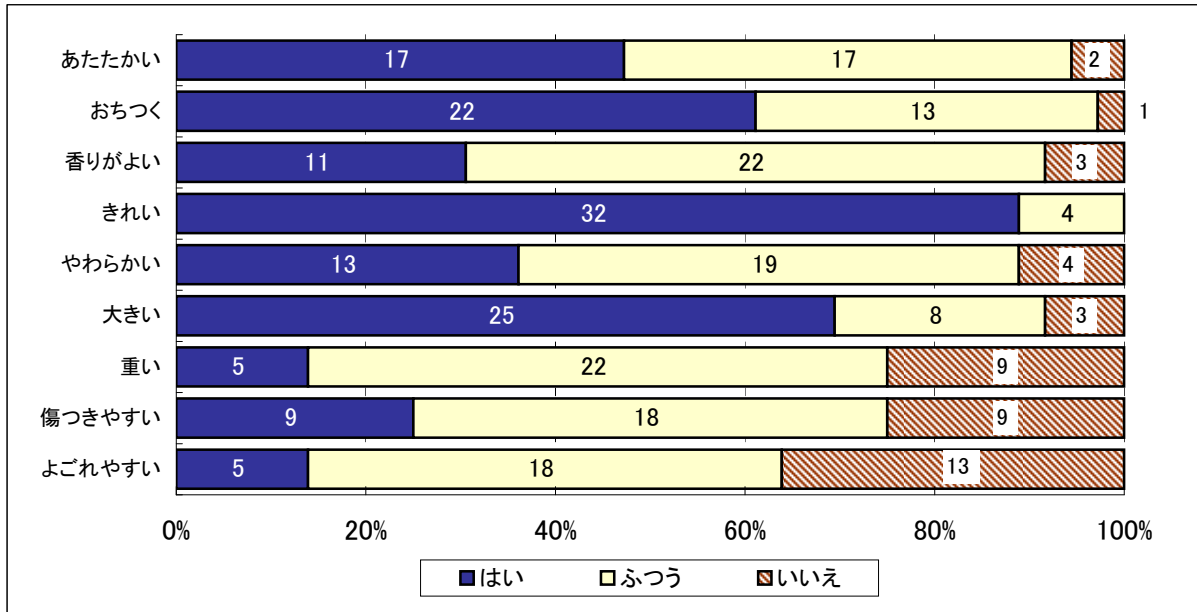
8. 県産材の利活用に関する自由意見

- ・県産の木材を使用することは大変良いことであるが、一部の児童にしか使用できないことは大変不都合である。
- ・木目がきれいで見た目がいい。公的施設に積極的利用を進めるとよい。
- ・あたたかく落ち着くので児童椅子の座、背板はどうでしょうか。ベンチ等の設置を希望します。
- ・富山県産の材料を使うことは、自分の県を大切にしようと思うことにつながると思う。
- ・あたたかい雰囲気をもつ県産材のよさはわかりますが、汚れや傷が付きやすいのは小学生には適さないように思いました。

(4) 森に親しむ学び舎づくり事業(県産材製天板導入補助事業) アンケート集計(中学校生徒用)

回答数	高岡市内8中学校	36
-----	----------	----

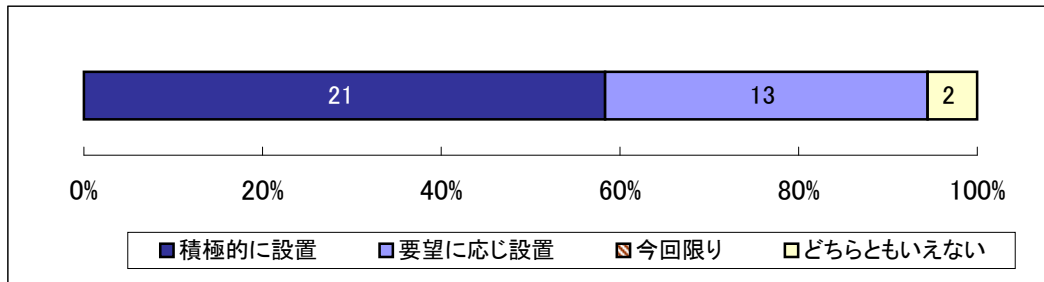
1. 天板に対する印象



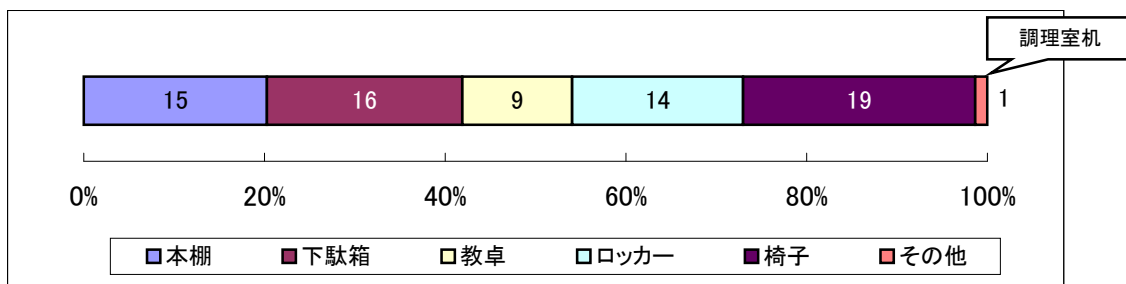
主な自由意見

- ・机が大きいのでノートや教科書を広げてもじゃまにならないのでよい。きれいなのでいい。
- ・大きくてつかいやすかったからもっと増やしていけばいいと思う。
- ・安心感があり使いやすい。木の模様がとてもいい。きれいだからまわりが明るく見える。
- ・県産材とは具体的にどのようなものをつかっているのか知りたい。
- ・今までの机よりきれいでしっかりしているから勉強に集中できそうです。
- ・あたたかみを感じた。

2. 今後の設置について

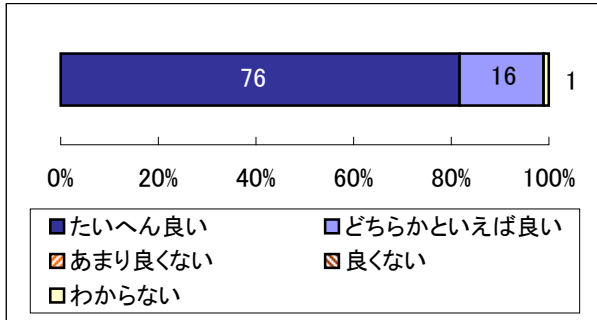


3. 学校にあれば良いと思われる県産材製品



平成21年度 木の香るまちづくり事業 アンケート集計(対象者:施設利用者)

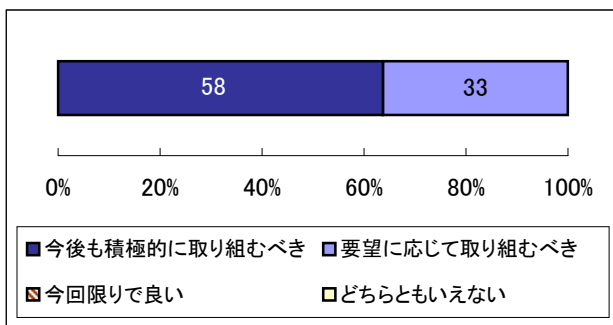
Q.1 県産材を使って、建物の内部を木質化したことについて、どう思いますか。



(主な意見)

- ・地産地消で環境にも良い
- ・県産材を使うことで建物に愛着が湧く
- ・落ち着く 昔懐かしい
- ・本来の住居の理想です

Q.3 このような公共施設等の内装木質化の取組みをもっと進めるべきと考えますか。



Q.2 クロス張りなどの内装と比べて、木材(県産材)を使った内装の良いと思われる点と悪いと思われる点を記載してください。

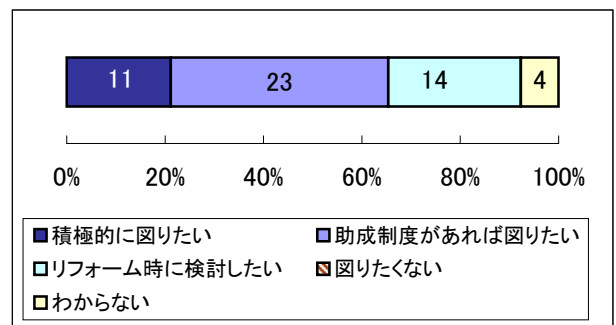
(良い点)

- ・暖かみや温もりがある
- ・安心感があり健康によい
- ・香りがよい
- ・木目がきれい

(悪い点)

- ・メンテナンスが大変
- ・コスト高となる
- ・キズがつく
- ・汚れやすい

Q.4 あなたの住んでいる住宅において、内装に木材を使ってみたいと思われましたか

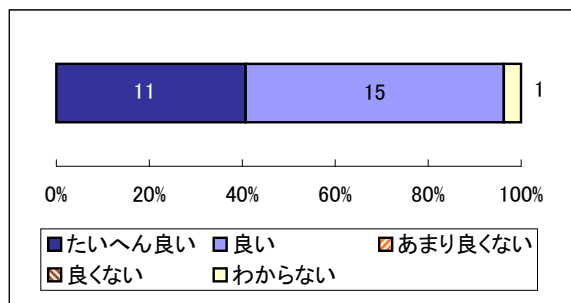


Q.5 県産材の利活用に対するご意見があれば記載して下さい。

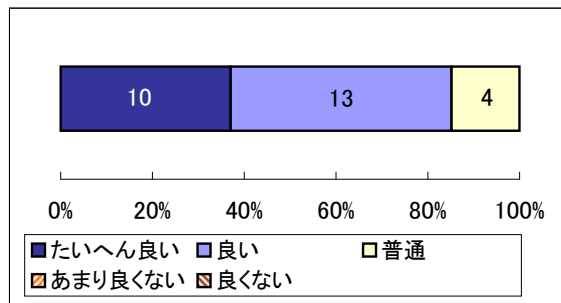
- ・県産材を利用するメリットをPRして欲しい
- ・安価になるように検討して欲しい
- ・県産材の助成制度はあんまり知られていないのではないか

平成21年度 木の香るまちづくり事業 アンケート集計(対象者:施設職員)

Q.1 県産材を使って、建物の内部を木質化したことについて、どう思いますか。



Q.2 あなたから見た県産材を使った内装木質化に対する印象はどうか。



(主な意見)

- ・雰囲気が明るくなる
- ・木の色目も落ち着く
- ・自然に囲まれている感じで安らぐ
- ・心が癒される

Q.3 クロス張りなどの内装と比べて、木材(県産材)を使った内装の良いと思われる点と悪いと思われる点を記載してください。

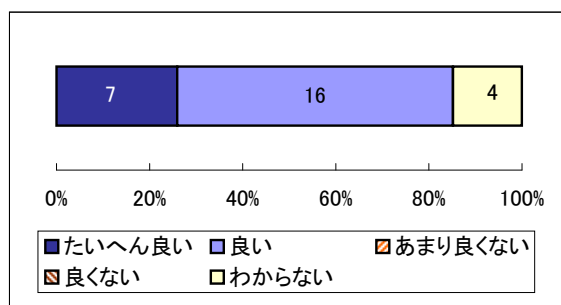
(良い点)

- ・暖かみがある
- ・温もり
- ・裸足が気持ちよい
- ・香りがよい

(悪い点)

- ・汚れやすい
- ・キズがつきやすい
- ・メンテナンスが大変
- ・節が目立つ

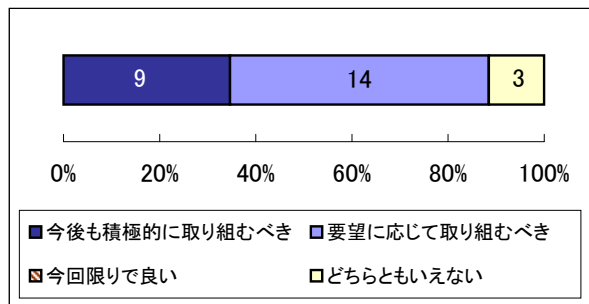
Q.4 県産材を使った内装木質化に対する利用者の印象はどうか。



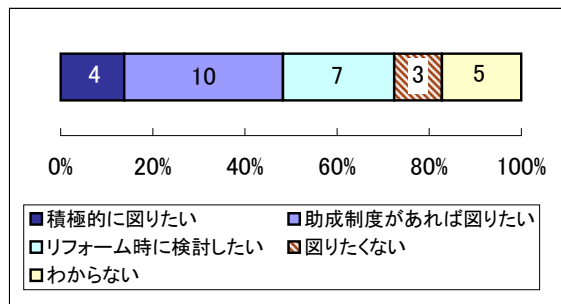
(主な意見)

- ・気持ちがいいので寝そべったり座って遊ぶことが多くなった
- ・部屋が暖かくなったと言われる
- ・想像以上に県産材は好評です

Q.5 県民の方々に県産材をPRする目的で、公共施設等の内装の木質化を図ることについてどう思いますか。



Q.6 あなたの住んでいる住宅において、このような内装木質化を図ってみたいと思われましたか。



Q.7 県産材の利活用に対するご意見があれば記載して下さい。

- ・パンフレット等でPRして欲しい
- ・教育の場で利活用するとPRになるのではないか
- ・助成制度等のPRをもっとして欲しい

Ⅷ 県民による森づくり提案事業

○趣 旨

県民参加の森づくりを進めるため、県民の皆さんが企画し、実践する森づくり事業への支援を行ないます。

また、水と緑の森づくり税を活用した事業のアイデアを募集し、水と緑の森づくり事業への反映を検討します。

○平成21年度事業の実績

(1) 県民実践活動事業

県内で活動する団体・グループから事業提案を募集し、第1回富山県水と緑の森づくり会議（平成21年4月22日開催）で審査のうえ、支援を行ないました。

【平成21年度実績】

・実施件数 25件

参加延べ人数

5,055人



整理伐採した木材を利用して家具などの木製品を製作し、県民に県産材利用を呼びかけるイベントが開催されました。

（県民で使おう、とやまの木実行委員会）



県内初のツリークライミング体験会が開催され、参加者は体験したことのない目線で森とのふれあいを楽しみました。

（NPO森林総合支援センター）

(2) 県民からのアイデア提案

県民から事業アイデアを募集し、第2回富山県水と緑の森づくり会議（平成21年12月4日開催）で審査のうえ、事業への反映を検討しました。

【平成21年度実績】

・応募件数 13件

うち2件につき一部採用

（森の寺子屋のメニュー拡充、広報活動の強化）

H21 県民による森づくり提案事業「県民実践活動事業」実施主体別実施概要

No.	実施団体名	実施場所	参加延べ人数
	実施内容	活動状況写真	
1	NPO黒河竹炭友の会	射水市黒河新 地内	85名
	<p>①放置竹林約600m²の整備 ②竹炭の製造(約30kgの収穫)</p> <p>放置竹林約600m²に約900本の竹が密生していた。700本を伐採し、うち100本を竹炭製造に利用。約30kgの竹炭を得た。残りの600本はチップパー機により粉砕した。整備前は人が入り込むことすらできなかったが、美しい竹林に生まれ変わった。</p>		
2	NPO南砺の山々を守る実行委員会	南砺市小院瀬見外 地内	546名
	<p>①H20豪雨災害による被害木の伐採・整理 ②伐採跡地での植樹イベント・炭焼きイベントの開催</p> <p>H20年度の豪雨災では、カシナガ、松くい被害木が流出した。流木の再発防止のため、里山のカシナガ等の被害木、豪雨による倒木などの伐採・整理を行い、跡地に植樹した。また、伐採木は炭焼きを行った。参加者には、講演会と併せて森づくりの大切さを啓発できた。</p>		
3	雄神地区森林振興会	砺波市庄川町庄外 地内	186名
	<p>①広葉樹林の整備と伐採木を使ったキノコの植菌 ②地域住民による炭焼き体験の開催 ③森づくり講演会の開催</p> <p>当地域の背後に広がる広葉樹林の整備とその活用、講演会の開催を通じて、地域の里山を見直すきっかけとなった。来年度は収穫されるキノコ料理教室なども開催し、広く地域住民に森の恵みを感じる機会を作りたい。</p>		
4	阿古屋野森づくりクラブ	黒部市阿古屋野 地内	244名
	<p>①市内小学生に対するコナラ植栽、カシナガ被害木のキノコ植菌体験等の指導 ②ドラム缶炭窯を製作・設置、竹炭焼き体験会の開催 ③植物観察会、樹木名札付け、バードウォッチング開催</p> <p>年間を通して多様な活動を行い、黒部市ふれあい交流館「あこや一の」の来館者、地元小学生、地域住民らに森づくりの大切さ、環境保全の必要性を体感してもらうことができた。</p>		

H21 県民による森づくり提案事業「県民実践活動事業」実施主体別実施概要

No.	実施団体名	実施場所	参加延べ人数
	実施内容	活動状況写真	
5	山平の森を育てる会	富山市今生津 地内	116名
	①スギ林、竹林など荒廃森林の整備 ②花木などの植栽と下草刈り ③林内道路整備 荒廃の進んだ旧 山平集落の森林を整備し、下層にはシャクナゲなどの花木や山野草を植栽した。 侵入竹の整理、スギ林の間伐など計画通りに整備を行うことができた。 荒廃森林はまだ多く、さらに活動を継続して美しい里山を再生していきたい。	 	竹林の伐採 植栽木の冬囲い
6	(財)オイスカ富山県支部	富山市船倉 地内	90名
	①植樹活動、昨年植栽した箇所の下刈り ②植栽木の活着率調査とネイチャーゲーム コナラ、ヤマザクラなどを荒廃地に植栽するとともに、昨年度の植栽地の下草刈りを実施し、その活着率の調査も行った。 参加したボーイスカウトなどの青少年に対し、活動を通して森づくりや自然に対する意識の高揚に資することができた。	 	広葉樹の植栽 ネイチャーゲーム
7	十三中学校育友会	氷見市飯久保 地内	374名
	①広葉樹林の除伐や竹林の伐採活動 ②キノコの植菌と栽培 ③自然観察会の開催 ④講演会の開催 生徒と保護者、教職員がともに、四季を通じて地域の森を整備し、自然に触れることで地域や森を愛する心を育む活動ができた。	 	広葉樹林の整備 自然観察会
8	樵舎	南砺市利賀村上百瀬外 地内	47名
	①上百瀬地区の巨木調査、植生調査 ②植生調査技術講習会、地域住民を対象とした蜂毒講習会の開催 ③巨木のドングリ採取と実生苗作り ④調査報告書やHP作成による利賀の森の情報発信 利賀地域の森林を調査し、情報発信をすることで森に寄り添った暮らしの模索と提案を行うことができた。	 	巨木調査 植生調査技術講習会

H21 県民による森づくり提案事業「県民実践活動事業」実施主体別実施概要

No.	実施団体名	実施場所	参加延べ人数
	実施内容	活動状況写真	
9	湖南小学校PTA	氷見市飯久保 地内	851名
	<p>①下草刈り、竹林の整理などの森林整備 ②伐採した木を活用したベンチ、看板の製作・設置 ③伐採した竹を活用した竹炭や楽器づくり教室の開催</p> <p>郷土の自然を学習の場とし、その中で様々な体験を積むことで、身近な自然のすばらしさを再発見し、郷土を愛し、郷土の自然を大切にすることを育むことができた。</p>	 植栽木の下刈り	 案内看板の設置
10	アースデイにいかわ実行委員会	魚津市坪野 地内	285名
	<p>①間伐などの森林整備 ②間伐材を活用した東屋の製作・設置 ③自然体験学習会、森の感謝祭の開催</p> <p>森林の整備を進めながら間伐材を利用して東屋の製作、設置をすることで森づくりの拠点として活用しやすくなった。 また、たくさんの親子連れなどの参加のもと森の感謝祭を開催し、市民へ森を守る意識啓発ができた。</p>	 間伐材を活用した東屋建設	 森の感謝祭
11	呉羽丘陵 森の楽校	富山市吉作 地内	103名
	<p>①昨年度竹林伐採した里山の下草刈り等の整備 ②散策路の整備と案内板の設置 ③里山の植物、昆虫などの観察会の開催</p> <p>密生した竹林であったところを繰り返し伐採し、広葉樹を植栽したことで豊かな雑木林に育ってきた。 また、里山の多様な植物や昆虫を知る機会ができ、呉羽丘陵の魅力を発信することができた。</p>	 竹林の伐採	 植物、昆虫観察会
12	東山見森林振興会	砺波市庄川町隠尾外 地内	145名
	<p>①広葉樹林の除伐 ②伐採木を利用したキノコの植菌</p> <p>昭和時代のような暮らしに密着した、明るく人が入りやすい里山の再生を目指して活動を行った。 広葉樹の除伐により420本のキノコ用ほだ木を得た。多数の地域住民の参加を得て、植菌を行い、里山と人との関わりや森の恵みなど、子供たちにも啓発することができた。</p>	 広葉樹林の整備	 キノコ植菌

H21 県民による森づくり提案事業「県民実践活動事業」実施主体別実施概要

No.	実施団体名	実施場所	参加延べ人数
	実施内容	活動状況写真	
13	Bamboo saves the earth	富山市婦中町添島外 地内	53名
	<p>①竹林の伐採 ②ビニールハウス活用竹堆肥化実験</p> <p>富山市内の4箇所、約0.5haの竹林を整備した。また、伐採竹をチップ化し、堆肥化しやすい粒度のチップを分別した。分別処理には相当な労力を要した。 ビニールハウスの熱を利用して発酵を促進し、約200kgの堆肥を得た。夏季には頻繁な水分補充が必要であった。 今後遊休ビニールハウスを持つ方に勧め、竹材と遊休ハウスの利用促進に貢献したい。</p>		
		竹林の伐採	竹チップ分別処理
14	きんたろう倶楽部	富山市西金屋外 地内	80名
	<p>①竹林整備とシイタケ廃菌床を活用した竹の堆肥化 ②花づくりを通じた堆肥の検証</p> <p>昨年度の堆肥はチッ素飢餓であったが、シイタケ廃菌床を混合することで安価にチッ素分が多い堆肥ができることがわかった。 さらに、廃菌床に加えて芝草を混ぜたものは廃菌床-竹混合堆肥の約2倍のチッ素含有量があり、高品質であることがわかった。</p>		
		廃菌床と竹の攪拌	竹堆肥を活用した花づくり
15	魚津市舩方地区	魚津市舩方 地内	30名
	<p>①過密になり荒廃した地域の人工林の間伐を実施 ②間伐材を利用したベンチ等の製作・設置</p> <p>荒廃したスギ林約0.6haが明るく美しい森に生まれ変わった。 また、地域の舩方緑地休養施設に新たな憩いの場を創出することができた。</p>		
		間伐材搬出	間伐材を活用したテーブル
16	ビーフレンド山と森の協同組合	南砺市杉尾 地内	54名
	<p>①枯損木伐採や下草刈りなどの森林整備 ②植樹、キノコ植菌などのイベント開催 ③ニホンミツバチ講座の開催</p> <p>カシナガ被害木などの伐採により荒廃した里山を整備した。また、伐採跡地への植栽と伐採木を利用したキノコ植菌を行うイベントを開催し、約40名が参加した。</p>		
		広葉樹の植樹	キノコの植菌



H21 県民による森づくり提案事業「県民実践活動事業」実施主体別実施概要

No.	実施団体名	実施場所	参加延べ人数
	実施内容	活動状況写真	
17	森と仲間づくり炭竹会	氷見市上田 地内	169名
	<p>①竹林の整備 ②整備に必要な作業路の開設</p> <p>作業道100mを開設し、竹林の整備と竹材の利用に弾みが付いた。 また、竹林約2haを整備するとともに、タケノコ掘りや植樹活動を地区内にある施設(こもれびの里)入居者と地区住民との協働で実施し、交流を図った。</p>	 	<p style="text-align: center;">作業路の開設</p> <p style="text-align: center;">竹林の整備</p>
18	小菅沼・ヤギの杜	魚津市小菅沼 地内	125名
	<p>①竹林と広葉樹林の整備 ②炭焼き窯の製作 ③ボランティアや地元小学生らとの炭焼き体験会の開催</p> <p>地域の繁茂した竹林や手の入っていない広葉樹林を整備するとともに、継続的な森林整備と森林資源の利用を進めるため炭窯を製作した。 炭窯製作、火入れには、地元の小学生なども参加し、森の役割や森林保全の大切さを継承する絶好の機会となった。</p>	 	<p style="text-align: center;">広葉樹林の整備</p> <p style="text-align: center;">炭窯製作体験</p>
19	しんゆう倶楽部	富山市割山 地内	114名
	<p>①間伐材、落葉落枝等の搬出 ②間伐材を活用したベンチ、テーブルの製作設置 ③伐採木を利用したキノコ植菌と炭焼き</p> <p>間伐材や落葉落枝を搬出し林床を整理したことにより新たな山野草が見られるようになった。 また、キノコ植菌や木材加工体験を通じて多くの方に森を手入れする必要性と森の癒し効果を感じてもらうことができた。</p>	 	<p style="text-align: center;">間伐材の搬出</p> <p style="text-align: center;">ベンチの製作</p>
20	NPO森林総合支援センター	砺波市東別所 射水市太閤山 地内	293名
	<p>①ツリークライミング実演と体験会開催 ②ツリークライミング講師による講演会開催</p> <p>ツリークライミングの第一人者 ジョン・ギヤスライト氏を招き、体験会、講演会を通して、森と人を結ぶ架け橋としてツリークライミングという楽しい樹上体験を多くの人に伝えることができた。 また、ロープワークは、伐採、枝打ちなど森づくり作業にも活用できる技術として大きな収穫となった。</p>	 	<p style="text-align: center;">ジョンさんの講演会</p> <p style="text-align: center;">ツリークライミング体験会</p>

H21 県民による森づくり提案事業「県民実践活動事業」実施主体別実施概要

No.	実施団体名	実施場所	参加延べ人数
	実施内容	活動状況写真	
21	富山県がうん天蚕の会	富山市八尾町檜尾 地内	419名
	<p>①クヌギ林の整備と天蚕飼育 ②ドングリ拾いやエコツアーなど森林環境教育の実施</p> <p>これまで育成してきたクヌギ130本に加え、新たに240本のクヌギを植栽した。また、天蚕飼育技術の確立と伝承、特産化による地域活性化の足がかりとなる活動ができた。 エコツアーではドングリ拾いのほかクラフト教室なども開催し、子供の情操教育にもなった。</p>	 	<p>クヌギ林の整備</p> <p>ドングリ拾い・エコツアー</p>
22	エコロの森ネイチャークラブ	富山市原 地内	121名
	<p>①森林セラピープログラムの作成 ②森林での癒し体験ツアーの開催</p> <p>森林セラピーの基礎知識のほかノルディックウォーキングやアロマセラピーなど18回にも及ぶ研修会を通じて立山山麓森林セラピー基地に適したプログラムの作成を行った。また、スノーシューコースも設定した。 体験ツアーにより作成したプログラムの検証も行った。</p>	 	<p>森林セラピープログラムの制作</p> <p>森林セラピー体験ツアー</p>
23	魚津地区林業研究グループ協議会	新川地区全域	223名
	<p>新川地域の小学生を対象に ①森林・林業講座の開催 ②下草刈りや間伐施業の体験活動 ③間伐材を活用した卒業証書額づくり</p> <p>座学、森林内での体験活動、額づくりを通して森づくりの大切さを伝えるとともに、森林・林業に対する学習意欲を喚起することができた。</p>	 	<p>間伐施業体験会</p> <p>卒業証書額づくり</p>
24	県民で使おう、とやまの木実行委員会	氷見市久目 富山市総曲輪 地内	115名
	<p>①森林整備の実施および伐採木を利用した製品の製作 ②①により製作した作品展示や県産材利用を呼びかけるイベントの開催</p> <p>実行委員会の構成団体がそれぞれの森林内での活動を通じて、森林のすばらしさ、森林の力、森林利用の原点を感じ取り、製品製作に取り組んだ。 グランドプラザでのイベントには2000人以上の来場者があり、多くの方に県産材の魅力を発信できた。</p>	 	<p>伐採木を利用した椅子の製作</p> <p>「県民で使おう、とやまの木」イベント</p>

H21 県民による森づくり提案事業「県民実践活動事業」実施主体別実施概要

No.	実施団体名	実施場所	参加延べ人数
	実施内容	活動状況写真	
25	梅谷の郷	氷見市柿谷 地内	187名
	①遊歩道開設、除伐、下草刈り等の里山林整備 ②間伐材を活用したベンチ等製作・設置 ③里山の恵みを楽しむ交流会の開催 通算28回もの活動により四季を通じて魅力を感じられる美しい里山となった。 また、チラシや看板を製作したことにより梅谷の郷の魅力を多くの人に伝えることができた。	 伐採竹の整理	 菖蒲園整備

H22年度合計

実施団体数	25団体	5,055名
-------	------	--------

【参考】

実施団体、参加延べ人数の推移

年度	実施団体数	参加延べ人数
H19	15団体	3,935名
H20	20団体	3,577名
H21	25団体	5,055名

平成21年度 県民からの森づくり事業アイデア提案 一覧

1. 新たな事業の提案

分野	番号	県民からのアイデア提案		対 応	
		事業名	事業概要	事業への反映	理由
森林の整備や利活用	1—①	高齢級人工林の伐採及び伐採跡地の再造林補助	①小規模、分散しており伐採経費がかかり増しになりがちな高齢級人工林（特にX年齢級以上）への伐採経費助成 ②伐採跡地の再造林と下刈り・雪起こし等に対する定額助成	他事業で対応可能	水と緑の森づくり事業については、現行の富山県森づくりプランでは、「生産林」を対象としていないため、提案は採用しない。ただし、造林事業（公共）により一部抜き伐りのものは対応可能であるが、林業振興の観点の中で対応可能か検討していきたい。
	1—②	スギの枯れ枝除去のための枝打ち事業	病虫害の防止を目的として、手遅れとなった枯れ枝を対象に枝打ちを行う	他事業で対応可能	造林事業（公共）で対応可能であり、また、緊急雇用対策としてH21年度より実施している「元気の森再生事業」でも取り組んでいる。
	1—③	植林スギに対する熊はぎの調査及び対策	①熊はぎ被害の実態調査（他県の対策状況とその効果の調査も含む） ②テープを巻くなどの保護対策の実施	他事業で対応可能	①H6年に立山町で初めて確認された熊はぎ被害は、毎年調査しており、昨年は立山町、富山市、上市町で1.2haの被害があり、近県とは対策等の情報交換も行っている。 ②熊はぎ防止対策は、造林事業（公共）で対応可能である。
県民意識の醸成	1—④	CO2吸収源調査	県民参加による現地の植生調査および航空写真による植生調査を実施し、市町村別吸収量を算出	採用（一部）	CO2吸収量（蓄積量）については、森林資源情報（県森林簿データ）により推定することが可能ある。 なお、現在実施している「森の寺子屋」の題材として、身近な森林のCO2吸収量の調査体験などにも取り組むこととしている。
	1—⑤	林業政策（水と緑の森づくり）の広報事業	①「とやまの森づくりメールマガジン」の発行 ②森林関係記事への「沈黙の森」マーク等の継続使用の要請	採用（一部）	①水と緑の森づくりやとやまの森については、「とやまの森づくりホームページ」や県の広報媒体等を活用してこれまでも積極的に広報活動を行ってきた。今後、更に森づくりに対する県民の理解と参加をさらに進めるため、新たに「県民参加の森づくりフェア」を開催するとともに、ローソンにおけるパンフレット掲示など新たな媒体も活用した事業の広報に取り組むこととしている。 ②提案があったことについてお伝えした。
森林資源の利活用	1—⑥	カシノナガキクイムシ被害木の有効利用	カシノナガキクイムシの被害木の活用方法として木製パレットに加工・利用	対応済	カシノナガキクイムシの被害木については児童・学童用机の天板として既に利用している。 また現在県の木材研究所において被害木を利用した家具を試作するなど、より付加価値の高い製品への利用について研究している。
	1—⑦	氷見シーサイドデッキの設置	①「道の駅ひみ」そばの公園に県産材を使用したウッドデッキを敷設 ②県産材活用の有効性・必要性をPRする看板等の設置（県産材の活用促進と、海・街など森林や木が身近でない人への県産材の普及啓発）	対応済	①漁港環境整備事業の中で、耐久性やメンテナンス上の理由から、木材・プラスチック複合材によるウッドデッキが、H20年度までに272㎡設置されている（H21年度は96㎡設置予定）。 ②県産材利用のPRについては、これまでも県産材ベンチの設置や、「こどもの城」のデザイン募集・製作などの形でPRに努めている。

平成21年度 県民からの森づくり事業アイデア提案 一覧

2. 既存の事業を改正する提案

分野	番号	県民からのアイデア提案		対 応	
		事業名	事業概要	事業への反映	理由
森づくりサポートセンターの運営	2—①	富山森づくり協力隊の新設	既存の森林ボランティアよりレベルアップした、作業能率を目的とした「仮称 富山森づくり協力隊」の新設	対応済	サポートセンターでは、県民参加の森づくり活動を幅広く支援している。森林ボランティアの技術面では安全で継続的に実施できる作業方法を指導しており、さらなるレベルアップに関しては、森づくり塾を開催し支援している。 なお、H13年から16年までにサポーター養成研修を受けたサポーターの会員130人が現在活躍しており、よりレベルアップした新たな団体の設立相談についても、サポートセンターにさせていただくとともに、県民の提案する「実践活動事業」に応募していただくことも可能である。
	2—②	上下流連携ボランティア交流	上下流連携ボランティア交流として実施されている飛越源流の森づくりについて、 ①土壌養分が少ないことから固形緩効性肥料の施肥 ②植樹した樹木の下刈りの実施	別途対応	飛越源流の森づくりの実施主体である「NPO法人どんぐりの会（高山市）」に対し、ご提案の内容についてお伝えしたい。
	2—③	とやまの森づくりサポートセンター支所の開設	①とやまの森づくりサポートセンターの支所を新川地区（県東部）、砺波地区（県西部）に1箇所ずつ設置 ②フォレストリーダー等に運営を委嘱	対応済	サポートセンターでは、3名の職員体制で森林ボランティアからの幅広いニーズに応じてきており、貸し出し機材のメンテナンス上の問題や、人員の面から、これまでどおり一元的に団体運営の相談・指導等の支援を行うこととした。 また、サポートセンターの活動を補助するため、県下4農林振興センターにも担当者を配置し、森林ボランティアや企業の森づくりの支援の窓口として、サポートセンターと連携して対応している。
その他	2—④	水と緑の少年団活動	既存の「花とみどりの少年団」と「水の少年団」を発展的に解消し、森林・川・海などの自然と水の大循環への理解を深める「水と緑の少年団」を設立する。	不採用	花とみどりの少年団は、自然（緑）に親しみ、守り育てる活動を通じて、心豊かな人間性を養うことを目的として、県内全市町村に各市町村単位又は学校単位で任意に結成されている。一方、水の少年団は、貴重な資源としての「水」を認識させることを目的として、県内に1団体（黒部市内）任意に結成されている。 それぞれの設立目的が異なることから統廃合することは困難と考えられる。

3. その他水と緑の森づくり全般に対するご意見

分野	番号	要 旨	対 応
水と緑の森づくり税	3—①	①「水と緑の森づくり税」を財源とした事業が県内で開始され、成果も現れてきている。残すところあと2年間となっていることから、平成24年度以降も活動を継続するためには新たな財源が必要となる。引き続き「水と緑の森づくり税」を実施するのか、新たな税を実施するのか、平成22年度中に方針を提案して欲しい。 ②森林だけでなく、農地、河川、海も含めた富山県の自然を守るための税にしてはどうか。	「水と緑の森づくり税」は、富山県森づくり条例に基づき導入しており、この条例に基づき策定した富山県森づくりプラン（計画期間平成19～28年）の前半5年間の事業推進のために活用することとしている。 5年経過時に税の導入効果、社会情勢等により見直すこととしていることから、平成22年度から23年度にかけて、県民や水と緑の森づくり会議等のご意見を伺いながら、富山県森づくりプランの後期計画（平成24年度以降の計画）を検討することとしている。そのため、今年度はその基礎資料とするための「森づくり県民意識調査」を実施することとしている。